

**淡路島の海事関係コンテンツを活かした
観光の推進に関する調査
報告書**

令和3年3月

国土交通省 神戸運輸監理部

内容

I . 淡路島における観光の現状.....	1
1. 観光客の動向	1
2. 観光施設及びイベントの現状	7
3. 淡路島における海事観光の現状	16
II . 受入環境の現状	21
1. 淡路島における交通の現状	21
2. 島内における多言語化、Wi-Fi 整備、キャッシュレス化の現状.....	29
3. 観光情報の発信方法に関する現状.....	31
III . 海上交通の現状	36
1. 島内で運航している旅客船の概要	36
2. 利用状況について	38
VI . 海事観光の先進事例、優良事例	40
1. 地方誘客を実現するための広域周遊の実現	40
2. 富裕層の誘致に向けた環境整備	43
3. 離島へのアイランドツーリズムの推進	45
4. マリンアクティビティ等の海事観光コンテンツの磨き上げ	47
5. 海のナイトタイムエコノミーの推進	49
V . 今後の調査について	51
VI . 淡路島の観光に関する関係団体等へのヒアリング	53
1. ヒアリングの実施概要	53
VII . 課題整理	56
1. コンテンツ造成に係る課題	56
2. 海事観光に係る課題.....	57
3. 受入環境の整備に係る課題.....	60
4. 情報発信に係る課題.....	62
5. 万博関係に係る課題.....	62
VIII . コンテンツの整理	64
1. SWOT 分析.....	64
2. コンテンツの整理	65
IX . 具体的な取り組みの提案	67
1. 新たな海事観光コンテンツ案	67
2. 受入環境の整備	76
3. 情報発信	76
X . 淡路島における海事観光の推進に向けて	77

I．淡路島における観光の現状

1. 観光客の動向

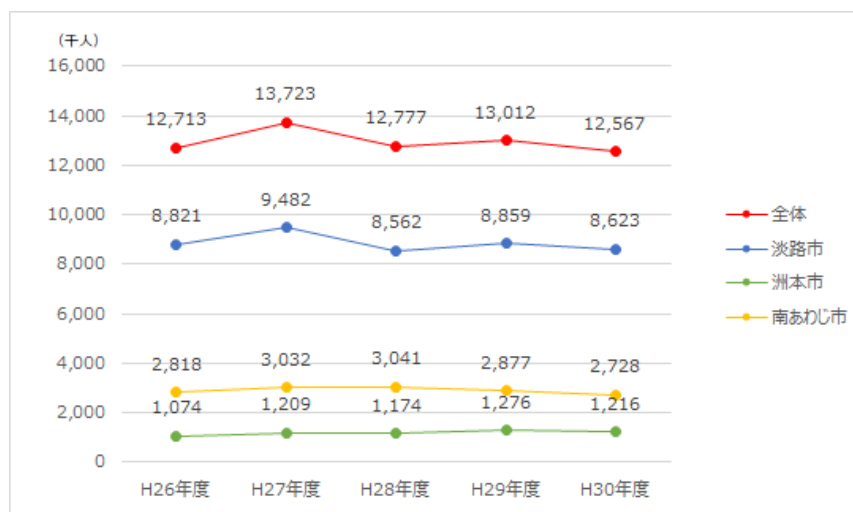
(1) 観光入込客数

淡路島全体の観光入込客数は、平成 26 年度より 13,000 千人前後で推移している。

なお、平成 27 年度は、「淡路花博 20 周年記念花みどりフェア」の開催により、一時的に増加した。

また、平成 29 年度には、淡路島国営明石海峡公園にニジゲンノモリがオープンしたことで、あわじ花さじきがテレビ放映されたことにより観光入込客数が微増した。平成 30 年度は前年の盛り上がりも落ち着き、概ね平年並みに戻っている。

【図表 1】淡路島全体と市毎の観光入込客数



出典：「兵庫県観光客動態調査報告書」よりパソナ作成

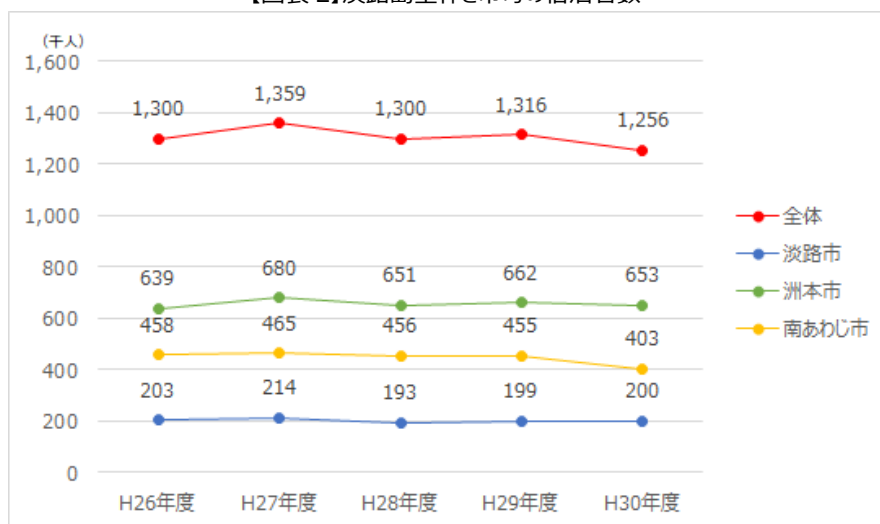
(2) 宿泊者数

淡路島全体の宿泊者数は、平成 27 年度の「淡路花博 20 周年記念花みどりフェア」開催に伴い一時的に増加したものの、その後は減少傾向である。なお、平成 30 年度は、7 月の豪雨や 8 月の台風等の影響により、前年度より大きく減少した。

宿泊者数は、近隣府県からの観光客を中心に 1,300 千人程度で横ばいが続き、入込客数の 1 割程度で推移している状況である。

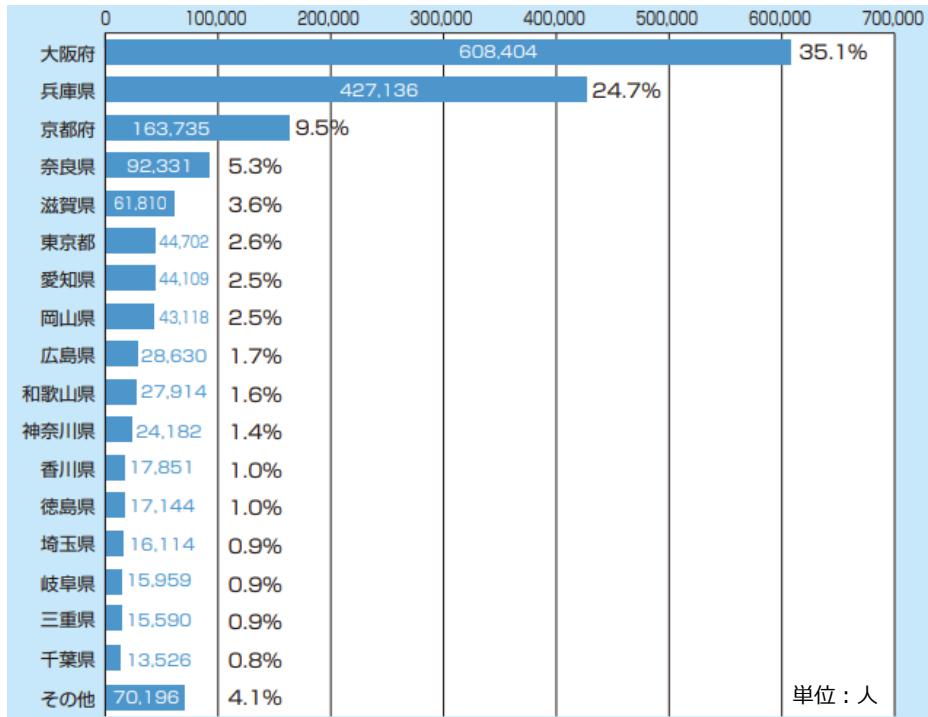
外国人宿泊者の比率では、台湾が 60%、中国が 13%と続き、東アジア 4 市場で 9 割を占めている。

【図表 2】淡路島全体と市毎の宿泊者数



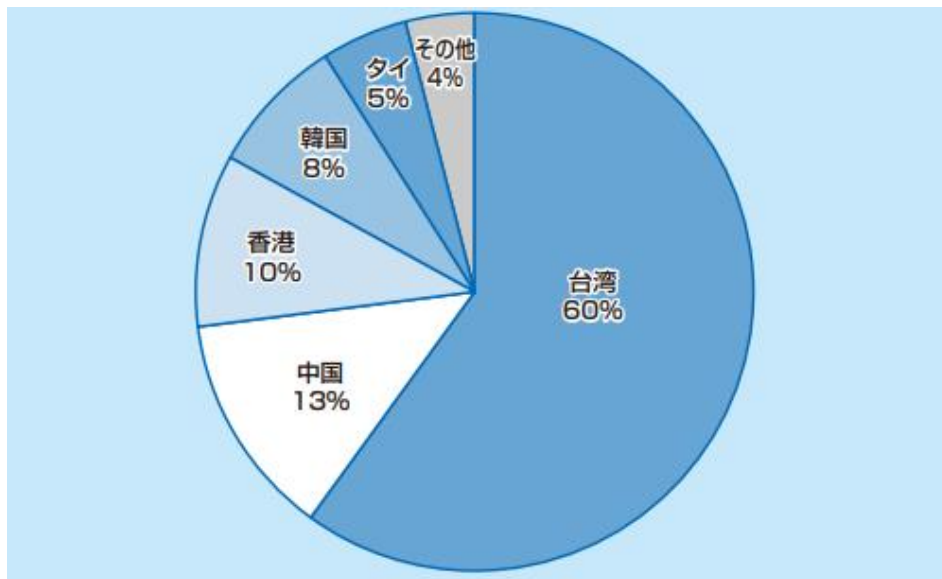
出典：「兵庫県観光客動態調査報告書」よりパソナ作成

【図表 3】淡路島への都道府県別宿泊者数（平成 28 年、延べ宿泊者数）



出典：「淡路島総合観光戦略」より

【図表 4】平成 27 年度 外国人宿泊率



出典：「淡路島総合観光戦略」より

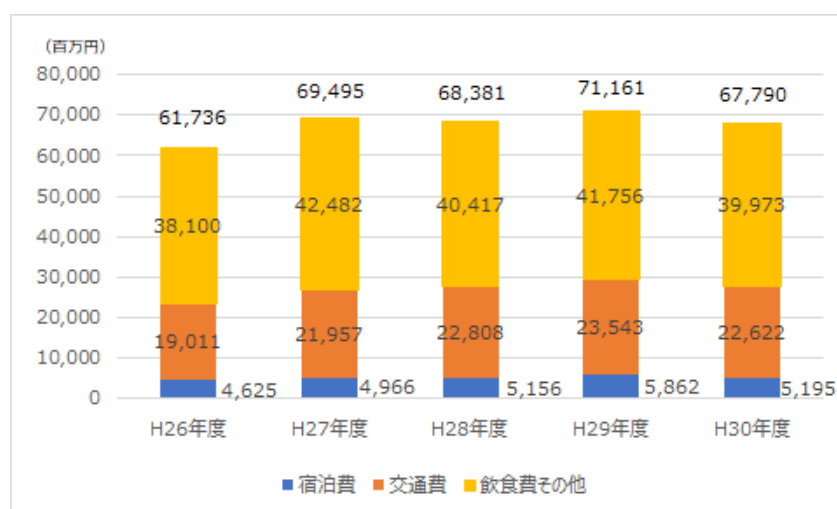
(3) 観光消費額について

淡路島全体の観光消費額は、平成 29 年度は、平成 26 年度と比較して 115%の伸び率であったが、平成 30 年度は観光客の減少に伴い、落ち込んでいる。

特に、洲本市は宿泊による消費が多く、平成 29 年度は 126%と他の市より伸び率が高くなっている。

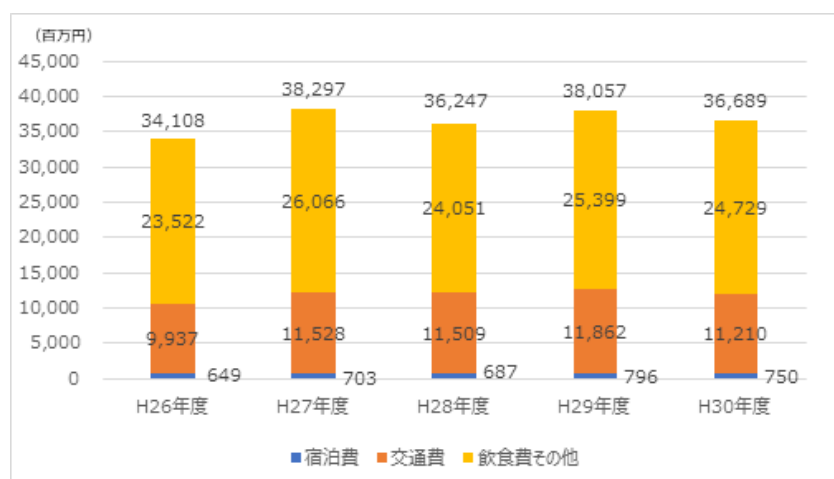
また、観光客 1 人あたりの消費額で見た場合、平成 26 年度は 4,856 円、平成 27 年度は 5,064 円、平成 28 年度は 5,352 円、平成 29 年度は 5,469 円、平成 30 年度は 5,356 円と近年増加傾向にある。

【図表 5】淡路島全体の観光消費額



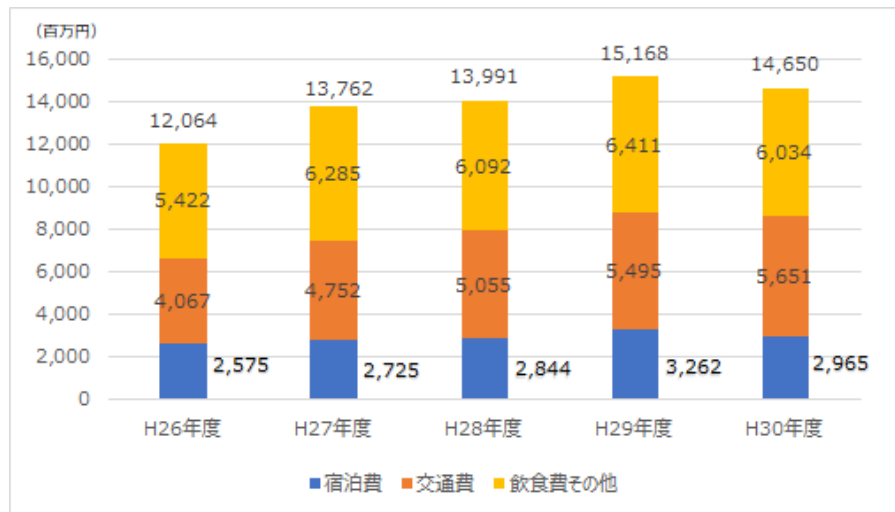
出典：「兵庫県観光客動態調査報告書」よりパソナ作成

【図表 6】淡路市の観光消費額



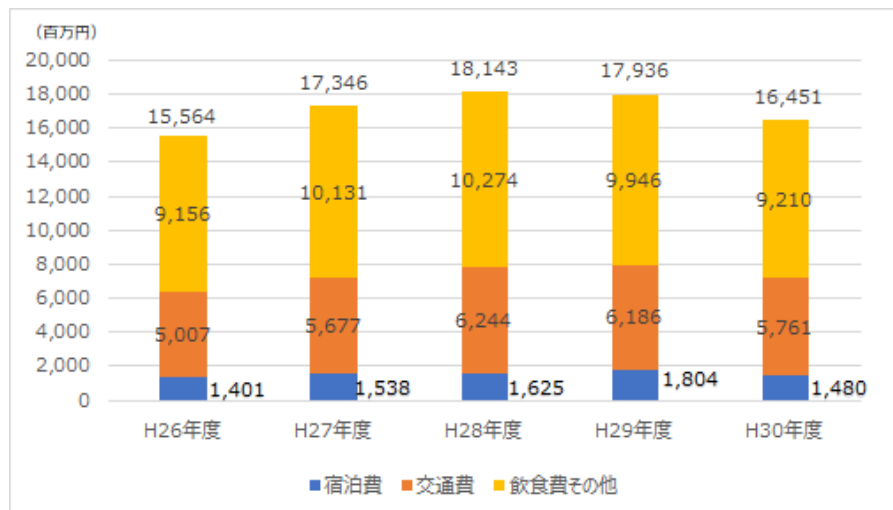
出典：「兵庫県観光客動態調査報告書」よりパソナ作成

【図表 7】洲本市の観光消費額



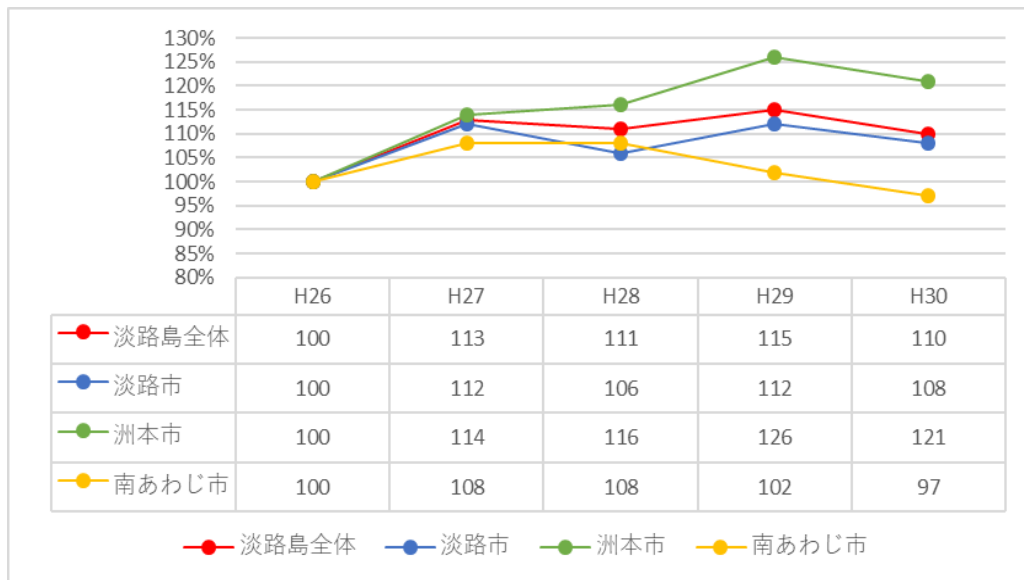
出典：「兵庫県観光客動態調査報告書」よりパソナ作成

【図表 8】南あわじ市の観光消費額



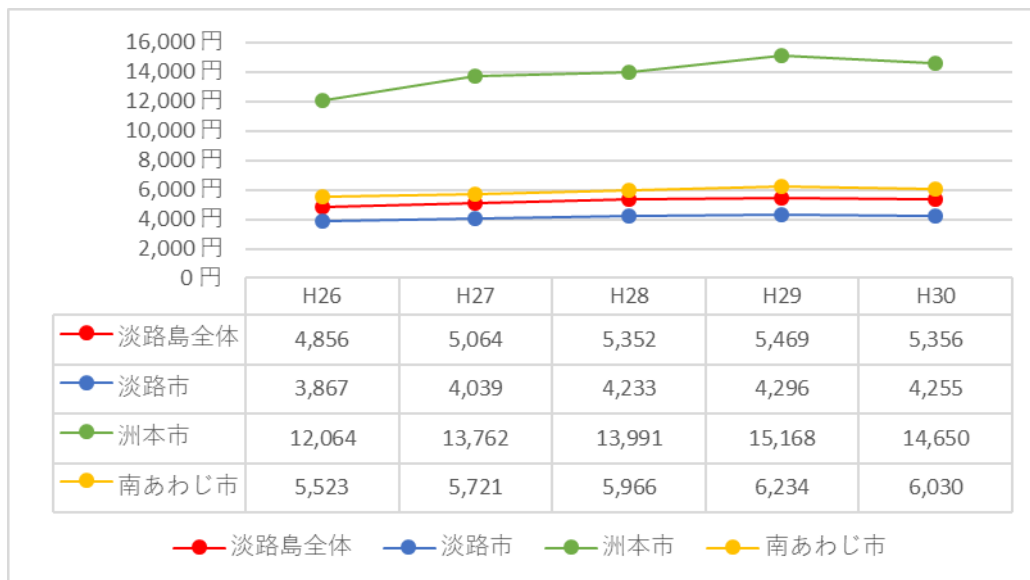
出典：「兵庫県観光客動態調査報告書」よりパソナ作成

【図表 9】観光消費額の伸び率（全体）



出典：「兵庫県観光客動態調査報告書」よりパソナ作成

【図表 10】1人あたりの観光消費額



出典：「兵庫県観光客動態調査報告書」よりパソナ作成

2. 観光施設及びイベントの現状

淡路島における主要な観光施設の現状は、下記のとおりである。

島内の主要観光施設を、「アミューズメント」、「スポーツ・レクリエーション」、「自然」、「歴史・文化」、「温泉」、「イベント」の 6 つのカテゴリに分類した。

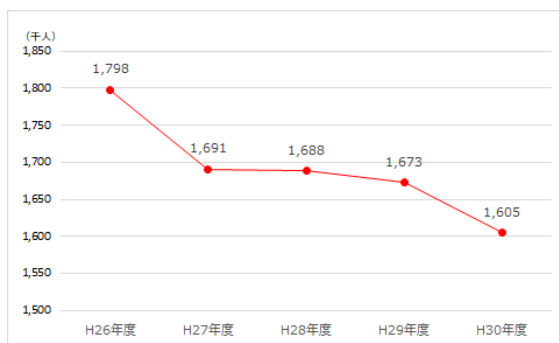
(1) アミューズメント

淡路ハイウェイオアシス（淡路市）

ハイウェイオアシスの外観



【図表 11】ハイウェイオアシスの利用者数



【概要】

- ・兵庫県立淡路島公園内にある「遊・食・買」を体験できる総合観光施設。
- ・公園内の散策や淡路島内の名産品を扱った料理を楽しめるほか、豊富なお店の土産を購入できる。

【利用者数の傾向】

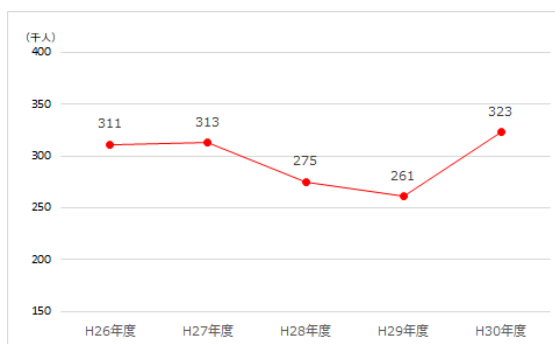
- ・平成 26 年度以降、減少。

淡路ワールドパーク ONOKORO（淡路市）

淡路ワールドパーク ONOKORO のミニチュア



【図表 12】淡路ワールドパーク ONOKORO の利用者数



【概要】

- ・淡路市塩田新島にあるテーマパーク。
- ・観覧車などの遊戯施設の他、世界中の遺跡や建造物のミニチュアなどを楽しめる。

【利用者数の傾向】

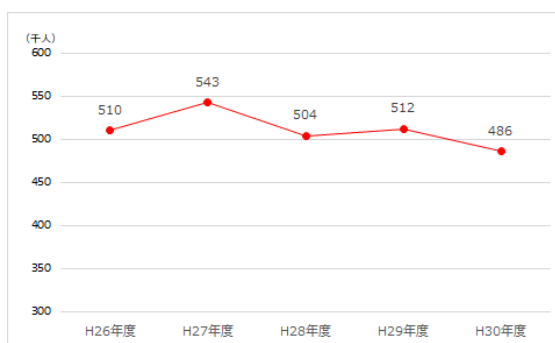
- ・平成 29 年度までは減少傾向であったが、平成 30 年度に増加。

道の駅あわじ 松帆アンカレイジパーク(淡路市)

道の駅あわじ正面



【図表 13】松帆アンカレイジパークの利用者数



【概要】

- ・明石海峡大橋の真下に広がる公園。
- ・パーク内にある道の駅では、淡路島で獲れた魚を使った海鮮丼などの食事を楽しめる。

【利用者数の傾向】

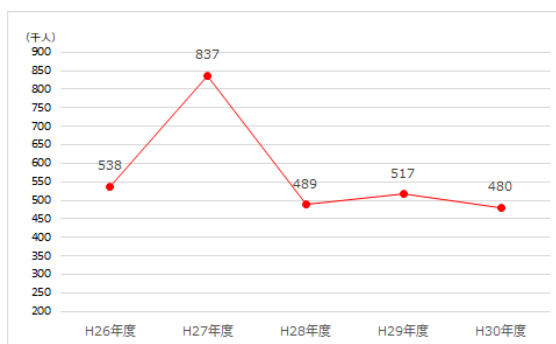
- ・近年は、減少傾向。

淡路島国営明石海峡公園（淡路市）

淡路島国営明石海峡公園



【図表 14】淡路島国営明石海峡公園の利用者数



【概要】

- ・平成 12 年に開催された淡路花博の跡地を利用して整備された国営公園。
- ・四季折々の花風景を楽しむ。
- ・大阪湾や紀淡海峡を望む立地から多彩な眺望スポットを備えるほか、大型複合遊具や広大な芝生広場など、子どもの遊び場も充実している。

【利用者数の傾向】

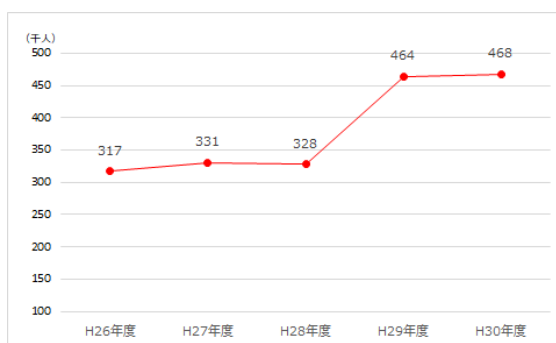
- ・平成 27 年度は、「淡路花博 20 周年記念花みどりフェア」が開催されたことにより増加したが、近年は横ばいで推移。

県立淡路島公園・ニジゲンノモリ（淡路市）

施設内アトラクション



【図表 15】県立淡路島公園の利用者数



【概要】

- ・兵庫県立淡路島公園内にある、日本を代表するアニメ作品をモチーフにしたアトラクションが楽しめるテーマパーク。
- ・淡路島の豊かな自然を感じながら宿泊できるグランピング施設も整備されている。

【利用者数の傾向】

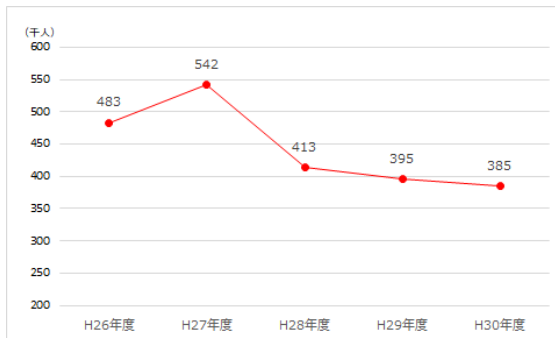
- ・平成 29 年度のニジゲンノモリ開園以来、増加傾向。

淡路島ファームパーク イングランドの丘（南あわじ市）

ファームパークのコアラ



【図表 16】淡路島ファームパーク イングランドの丘の利用者数



【概要】

- ・南あわじ市にある農業公園。
- ・イギリスの湖水地方をイメージして造られた「イングランド」、動物との触れ合いができる「グリーンヒル」の2つのエリアがある。
- ・シンボリックな存在のコアラの鑑賞や動物とのふれあい、四季折々の花の鑑賞、パン作り・アイスクリーム作りなどの体験教室や農作物の収穫体験などができる。

【利用者数の傾向】

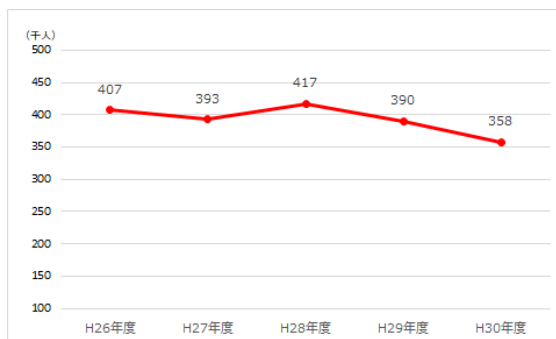
- ・近年は、減少傾向。

道の駅うずしお（南あわじ市）

道の駅うずしお外観



【図表 17】道の駅うずしおの利用者数



【概要】

- ・南あわじ市福良にある、日本で一番うずしおに近い道の駅。
- ・無料展望台があり、鳴門海峡が一望できる。
- ・全国ご当地バーガーグランプリで1位と2位を獲得したバーガーを食べられる他、展望レストランでは、地元の新鮮な魚介類や野菜など旬の素材を活かした料理が楽しめる。

【利用者数の傾向】

- ・近年は、減少傾向。

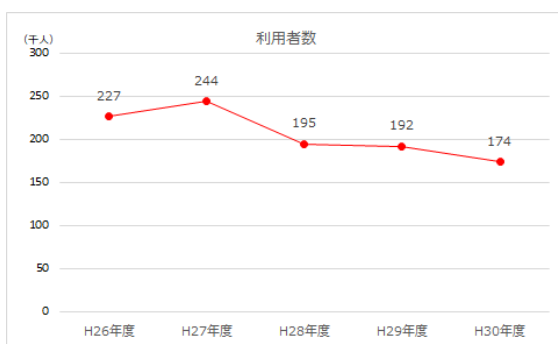
(2) スポーツ・レクリエーション

淡路島牧場（南あわじ市）

淡路島牧場の乳しぼり体験



【図表 18】淡路島牧場の利用者数



【概要】

- ・淡路島の南部に位置する観光体験型牧場。
- ・牛の乳しぼりや子牛の哺乳などの体験ができる。

【利用者数の傾向】

- ・近年は、微減している。

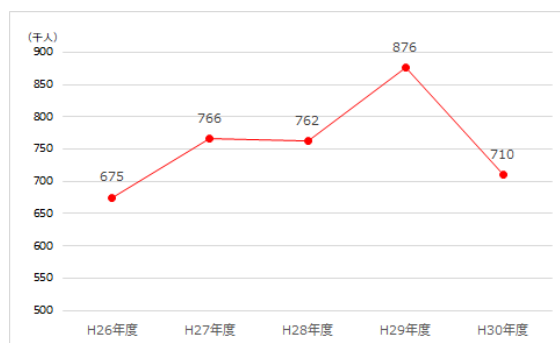
(3) 自然

あわじ花さじき（淡路市）

あわじ花さじきの風景



【図表 19】あわじ花さじきの利用者数



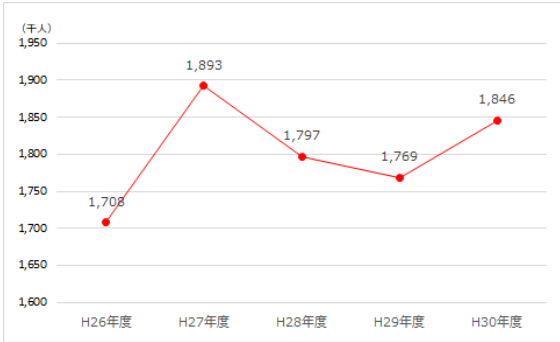
【概要】

- ・淡路島北部に位置する、四季折々の花を楽しむ公園。
- ・甲子園球場の約 4 倍の面積の花畑を有する。
- ・園内の小高い展望台からは、明石海峡や大阪湾を一望することができる。

【利用者数の傾向】

- ・平成 29 年度にテレビ放映されたことにより大幅増加。平成 30 年度は例年の利用者数に戻った。

(4) 歴史・文化

伊弉諾神宮（淡路市）													
伊弉諾神宮正面  【図表 20】伊弉諾神宮の参拝者数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参拝者数(千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>1,708</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>1,893</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>1,797</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>1,769</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>1,846</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参拝者数(千人)	H26年度	1,708	H27年度	1,893	H28年度	1,797	H29年度	1,769	H30年度	1,846	【概要】 ・兵庫県淡路市多賀にある神社。 ・「古事記」や「日本書記」に記載のある神社の中では、全国で最も古い神社。 ・淡路国一宮として古代から全国の掌敬を集めている。 【参拝者数の傾向】 ・近年は増加傾向。
年度	参拝者数(千人)												
H26年度	1,708												
H27年度	1,893												
H28年度	1,797												
H29年度	1,769												
H30年度	1,846												

洲本城跡（洲本市）	
洲本城跡の模擬天守 	【概要】 ・洲本市街を望む三熊山の山上一帯に築かれた山城。 ・戦国時代から江戸時代にかけて淡路国を統治した城跡。 ・模擬天守の近くからは市街や紀淡海峡を一望することができる。

おのころ島神社（南あわじ市）	
おのころ島神社の大鳥居 	【概要】 ・南あわじ市にある神社。 ・「古事記」や「日本書記」の国生み神話に登場するイザナギ、イザナミの二神を祀っている。 ・古くから「おのころ島」と親しまれ崇敬されている。 ・境内には日本有数の大鳥居がある。

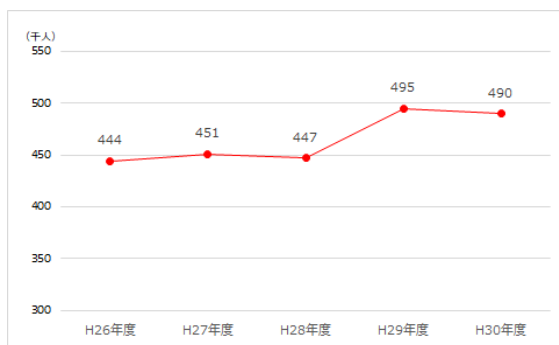
(5) 温泉

洲本温泉（洲本市）

洲本温泉の様子



【図表 21】洲本温泉の利用者数



【概要】

- ・洲本市中心街近くの大浜海岸から古茂江海岸の海岸線に展開する観光温泉街。
- ・ホテルニューアワジをはじめとした数々のホテルや旅館が軒を連ねる。
- ・冷泉だが量は豊富で団体客や家族連れが多く訪れる。

【利用者数の傾向】

- ・平成 29 年度に大幅増。

(6) イベント

淡路島祭り（洲本市市街地および洲本港周辺）

淡路島祭りの花火



【概要】

- ・70 回以上を数える淡路島を代表する夏祭り。
- ・毎年 8 月第一日曜日を含み金土日の 3 日間で開催されている。（1.2 日目：おどり大会 3 日目：花火大会）

【来場者数の傾向】

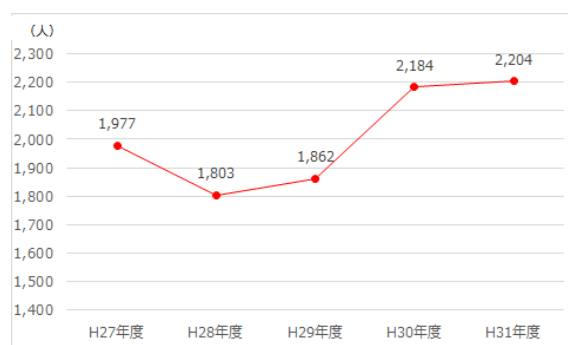
- ・平成 30 年は約 6.5 万人が来場。

淡路島ロングライド 150

淡路島ロングライド 150 の様子



【図表 22】淡路島ロングライド 150 の参加者数



【概要】

- ・平成 22 年にスタートした淡路島を自転車で一周するサイクリングイベント。
- ・淡路島一周 150km のコースは地元で「アワイチ」の名で親しまれている。

【来場者数の傾向】

- ・平成 28 年度より増加傾向。

淡路国生みマラソン全国大会

淡路国生みマラソン全国大会の様子



【概要】

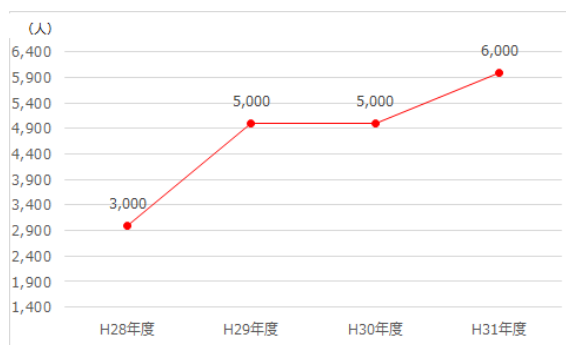
- ・淡路島内を走るマラソン大会。
- ・ハーフ、9km、4km、1.5km と初心者にも走りやすいコース設定がされており、年々参加者が増えている。

うみぞら映画祭（洲本市）

うみぞら映画祭の様子



【図表 23】うみぞら映画祭の来場者数



【概要】

- ・平成 28 年度に始まった、洲本市の 3 カ所で行われる映画祭。
- ・大浜海水浴場では海上に巨大スクリーンを設置して砂浜から映画を鑑賞する、世界的にも希少な映画祭である。

【来場者数の傾向】

- ・開催初年度の平成 28 年度より年々増加。

出典：各社ホームページ及びヒアリング結果より

3. 淡路島における海事観光の現状

淡路島では「海」、「港」、「船」等を活用した様々な海事観光があり、「周遊」、「マリンアクティビティ」の2つのカテゴリに分類した。

(1) 周遊

①うずしおクルーズ（南あわじ市）

福良港より出航するうずしお観潮クルーズで、定時便として1日6便、臨時便（30名以上で運航）として6便が運航されている。所要時間は約60分である。春と秋の大潮時には直径20mにもなる大渦を望める。

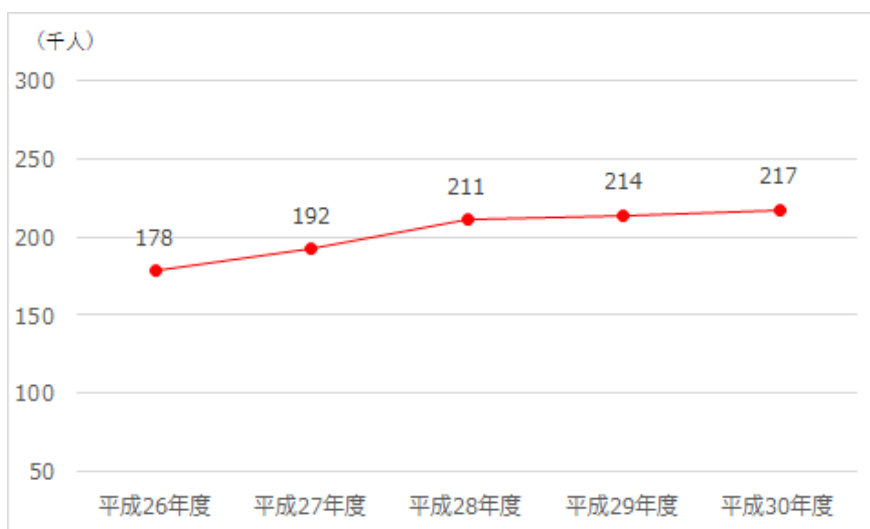
利用者数は年々増加しており、平成28年度は200千人を突破。利用者の在住地域は近畿圏が70%、中京圏が20%、首都圏が10%となっている。

【図表 24】うずしおクルーズのツアー風景



出典：ジョイポート南あわじ「うずしおクルーズ」公式ホームページより

【図表 25】うずしおクルーズの利用者数



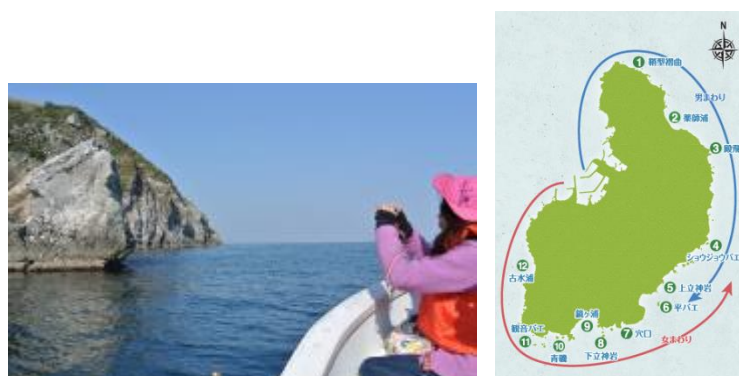
出典：ヒアリング調査結果よりパソナ作成

②沼島おのころクルーズ（南あわじ市）

沼島の周囲 10 キロを漁船で巡る奇岩クルーズ。沼島の漁師が自らの漁船で周遊し、海からでないと見ることができない奇岩の表情を楽しむことができる。所要時間は 40～50 分。

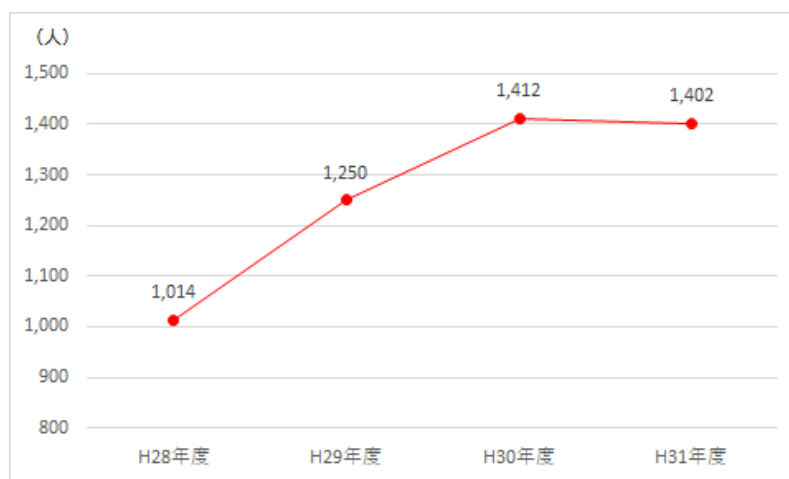
近年は全国各地から観光客が訪れるようになったが、依然として関西圏からの利用者が多数を占めている。山陽地域発のバスツアーの開始や南あわじ市や洲本市の学校の課外学習の一環として導入されたことにより、利用者数は増加傾向である。

【図表 26】おのころクルーズのツアー風景とツアールート



出典：「おのころクルーズ」公式ホームページより

【図表 27】おのころクルーズの利用者数



出典：ヒアリング調査結果よりパソナ作成

③成ヶ島渡船（洲本市）

海浜植物が群生し、ウミガメの産卵も認められるほど自然が豊富に残る「国立公園成ヶ島」と淡路島（洲本市由良）を結ぶ唯一の航路。運航時間は 1 分。月曜、金曜、土曜、日曜の午前 9 時から午後 5 時まで、1 時間に 1 回運航されている。

利用者は、自然観察を目的とした団体客や地元の学校がメインである。

【図表 28】成ヶ島渡船の発着場



出典：「成ヶ島渡船」公式ホームページより

(2) マリンアクティビティ

① シームーンリゾート（洲本市）

洲本市安乎町にあるマリンリゾートを楽しめる施設。4月下旬から10月下旬にかけて、パラセーリング、ジェットボート、ウェイクボード、トーイングチューブ、バナナボートなど、多様なマリンアクティビティを提供している。

利用者数は平成29年度に大幅に増加したが、その後は12千人程度で推移している。

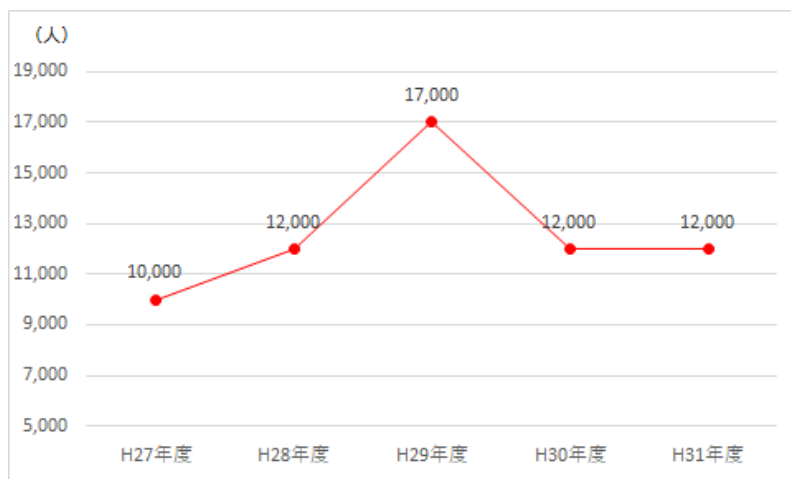
なお、利用者は関西圏が9割以上を占め、外国人利用者は全体の1%未満に留まっている。

【図表 29】シームーンリゾートのパラセーリング



出典：「シームーンリゾート」公式ホームページより

【図表 30】シームーンリゾートの利用者数



出典：ヒアリング調査結果よりパソナ作成

②淡路じゃのひれアウトドアリゾート（南あわじ市）

淡路島の最南端で海と山に囲まれた大自然の中で、釣りやイルカとのふれあい、シーカヤックやSUP（Stand Up Paddleboard）など、幅広くマリナクティビティが体験できるリゾート施設。キャンプや農業体験なども人気を博している。

【図表 31】淡路じゃのひれアウトドアリゾートのシーカヤック



出典：「淡路じゃのひれアウトドアリゾート」公式ホームページより

Ⅱ．受入環境の現状

1. 淡路島における交通の現状

(1) 「1 次交通」の概況

①旅客船

島内への 1 次交通として、「淡路ジェノバライン（岩屋港⇄明石港）」が運航されている。

詳細に関しては、次章の「海事交通の現状」にて記述する。

②高速バス

バス会社 7 社により、18 路線が運行されている。高速バスの現状及び各路線の運行状況は、以下のとおり。

なお、路線については、大阪、新神戸、三宮、学園都市および高速舞子から島内の結節点である岩屋、津名、洲本、陸の港西淡、福良を結んでおり、30～60 分に 1 本の割合で運行されている。

【図表 32】高速バス運行状況

バス会社	路線名	便数				停留所 ※主要停留所のみ記載/当該主要停留所は青色
		上り		下り		
		平日	休日	始発	最終	
淡路交通・神姫バス	三ノ宮・福良線	23	24	26	24	福良～原田～淡路島南IC～西淡志知～陸の港西淡～榎列～緑PA～洲本IC～津名一宮IC～北淡IC～本四仁井～淡路IC～ 高速舞子 ～ 神戸三宮
淡路交通	舞子・福良線	10	6	13	10	福良～原田～淡路島南IC～西淡志知～陸の港西淡～榎列～緑PA～洲本IC～津名一宮IC～北淡IC～本四仁井～淡路IC～ 高速舞子
淡路交通・神姫バス	三ノ宮・洲本線	22	20	22	19	洲本BC～宇山～WPおのころ～志筑～津名港～本四仁井～淡路IC～ 高速舞子 ～ 神戸三宮
淡路交通	学園都市・洲本線	11	11	12	11	洲本BC～宇山～WPおのころ～志筑～津名港～本四仁井～淡路IC～ 高速舞子 ～ 学園都市駅
淡路交通・神姫バス	三ノ宮・西浦線	16	16	16	16	高田谷嘉兵衛公園～五色バスセンター～伊弉諾神宮前～群家～尾崎上の浜～室津～北淡IC～本四仁井～淡路IC～ 高速舞子 ～ 神戸三宮
淡路交通	淡路－徳島線	4	3	4	3	洲本BC～洲本IC～緑PA～榎列～西淡志知～淡路島南IC～ 徳島
淡路交通・阪急観光バス	大阪－洲本線	4	4	4	4	洲本BC～津名港～北淡IC～本四仁井～淡路IC～ 大阪
本四海峡バス	くにうみライナー	4	3	4	4	陸の港西淡～榎列～緑PA～洲本IC～津名一宮IC～北淡IC～本四仁井～淡路IC～ニジゲンノモリ淡路ハイウェイオアシス～ 高速舞子 ～ 三宮BT ～ JR新神戸駅
みなと観光バス	淡路島特急線	8	8	8	8	陸の港西淡～榎列～緑PA～洲本IC～北淡IC～淡路IC～ニジゲンノモリ淡路ハイウェイオアシス～ 三宮BT
本四海峡バス・西日本JRバス	①洲本IC経由	6	5	7	5	洲本BC～宇山～洲本IC～津名一宮IC～北淡IC～本四仁井～淡路IC～ 高速舞子 ～ 三宮BT ～ JR新神戸駅
本四海峡バス・西日本JRバス	②洲本IC経由：ライナー便	5	1	4	1	洲本BC～宇山～洲本IC～津名一宮IC～ 高速舞子 ～ 三宮BT ～ JR新神戸駅
本四海峡バス・西日本JRバス	③津名港経由	11	11	10	11	洲本BC～津名港～北淡IC～本四仁井～淡路IC～ 高速舞子 ～ 三宮BT ～ JR新神戸駅
本四海峡バス・西日本JRバス	④津名港・洲本IC経由	2	2	1	1	洲本BC～洲本IC～津名港～北淡IC～本四仁井～淡路IC～ 高速舞子 ～ 三宮BT ～ JR新神戸駅
本四海峡バス・西日本JRバス	⑤NARUTO大阪号	3	3	3	3	洲本BC～宇山～洲本IC～津名一宮IC～北淡IC～本四仁井～ニジゲンノモリ～ 大阪空港 ～ 大阪駅 ～ 湊町BT
本四海峡バス・西日本JRバス	⑥NARUTO神戸号	2	2	2	2	洲本BC～宇山～洲本IC～津名一宮IC～北淡IC～本四仁井～ニジゲンノモリ～ 高速舞子 ～ 三宮BT ～ JR神戸駅 ～ 神戸空港
本四海峡バス・西日本JRバス	大磯号	32	29	27	29	東浦BT～大磯港BT～淡路夢舞台前～聖隷淡路病院前～ 鶴崎 ～ 高速舞子 ～ 三宮BT ～ JR神戸駅
フットバス	あわじうどん線	15	15	15	15	国分寺BT ～ 高松駅高速BT ～ 高速淡路志知 ～ 高速舞子 ～ 神戸三宮 ～ USJ ～ 大阪駅前 ～ 湊町BT ～ 南海なんば
本四海峡バス・徳島バス	関西空港リムジンバス	9	9	9	9	徳島駅前 ～志知～洲本IC～津名一宮～淡路IC～ 関西空港

出典：「あわじ足ナビ 路線バス、コミュニティバス、旅客船時刻表」よりパソナ作成

※1 島内主要停留所を赤色、島外主要停留所を黒色で記載。

※2 10 月 1 日より新型コロナウイルスの影響により、減便して運行中。

(2)「2 次交通」の概況

①路線バス

島内において、バス会社 2 社により 7 路線が運行されている。

路線バスは、主として市民の日常生活の移動手段として利用されている。路線バス沿線上の主要観光施設は「淡路島ファームパーク イングランドの丘」、「淡路島ワールドパーク ONOKORO」、「福良」があるが、観光客の利用は少ない。

【図表 33】路線バス運行状況

バス会社	路線名		便数		停留所 ※上りの順で記載
			平日	休日	
淡路交通	縦貫線 (福良⇄洲本BC)	上り	13	11	福良～南淡庁舎前～御陵前～国衙～市～南あわじ市役所前～鳥井～東養宜～中八木～イングランドの丘～中山峠～広田～納～洲本IC～二本松～新加茂橋～下加茂～宇山車庫前～宇山～洲本～洲本BC
		下り	16	14	
	縦貫線 (洲本BC⇄津名港)	上り	13	12	洲本BC～洲本（市役所前）～築地町～塩屋～安乎～塩尾～ワールドパークおのころ～津名臨海公園～しづかホール前～志筑～津名港
		下り	13	12	
本四海峡バス	鮎原線 (志筑⇄広石)	上り	6	6	広石～栢野～鮎の郷～たかたクリニック前～天神～鮎原～下村～上村～木曾堀切～上畑～八軒家～大町学校前～下大町～竹谷～津名一宮IC～静の里公園～津名総合事務所前～八幡前～津名高校前～志筑
		下り	6	6	
淡路交通	鳥飼線 (洲本BC⇄湊)	上り	4	4	湊～慶野～五色浜～鳥飼浦～鳥飼八幡宮～五色丘診療所前～札の辻～堺小学校前～供養石～奥畑～先山口～二本松～東桑間～新加茂橋～宇山～築地町～洲本～洲本BC
		下り	4	4	
淡路交通	都志線 (洲本BC⇄湊)	上り	4	4	湊～慶野～五色浜～鳥飼浦～鳥飼北組～角川～都志～五色バスセンター～大宮～天神～三野畑～東塔下～市原～市原口～下加茂～宇山車庫前～築地町～洲本～洲本BC
		下り	4	4	
淡路交通	長田線 (洲本BC⇄湊)	上り	5	5	湊～西松帆～松帆橋～脇田～掃守～中村～庄田～しづおり団地前～長田～土井谷口～広田～納～二本松～東桑間～新加茂橋～宇山～築地町～洲本～洲本BC
		下り	4	4	
淡路交通	由良線 (洲本・下加茂⇄由良)	上り	10	10	由良福祉センター～由良保育園前～由良支所前～由良～日の出～天川～土生川～内田～真の谷～三ツ川～真浦～住吉前～菰江～古城園前～千畳敷～公園前～洲本BC～洲本（市役所前）
		下り	10	10	

出典：「あわじ足ナビ 路線バス、コミュニティバス、旅客船時刻表」よりパソナ作成

②コミュニティバス

洲本市「コミュニティバス（上灘・沼島線、五色地域）」、淡路市「あわ神あわ姫バス」、南あわじ市「らん・らんバス」の3種のコミュニティバスが運行されている。

淡路市においては、主要観光施設への送客を目的とした路線も設定されているが、洲本市と南あわじ市においては、市民の生活路線が主となっており、観光客には利用しづらいものとなっている。

【図表 34】コミュニティバス運行状況

	路線名		便数		停留所 ※路線バス・コミュニティバスとの乗継ぎ可能 観光地のある主要停留所のみ上りの順で記載
			平日	休日	
洲本市域	コミュニティバス 上灘・沼島線	上り	4	4	沼島汽船場前・円実・城方・山本・吉野・黒岩・瀬黒岩水仙郷・倉川・白崎・来川・モンキーセンター・生石口・由良保育所前・洲本バスセンター
		下り	4	4	
	コミュニティバス 五色地域	上り	4	4	高田屋嘉兵衛公園・五色バスセンター・鮎の郷・たかたクリニック前・五色図書館・下加茂・宇山車庫前・築地町・洲本バスセンター
		下り	5	5	
淡路市域	あわ神あわ姫バス (淡路市生活観光バス)	時計回り	14	14	岩屋ボートターミナル・鶴崎・聖隷淡路病院前・淡路夢舞台前・大磯港・東浦BT・東浦事務所前・本四仁井高速バス停前・北淡事務所前・道の駅あわじ
		反時計回り	14	14	
	あわ神あわ姫バス 東浦-北淡 (淡路市生活観光バス)	北淡方面	10	9	東浦BT・東浦事務所前・東浦平成病院前・本四仁井高速バス停・北淡事務所前
		東浦方面	9	8	
	あわ神あわ姫バス 北部観光周遊回り (淡路市生活観光バス)	時計回り	9	9	岩屋ボートターミナル・国営明石海峡公園淡路口前・淡路夢舞台前・東浦バスターミナル・ハーモニーファーム淡路・あわじ花さじき・淡路カントリーガーデン・県立淡路景観園芸学校・タネノチカラ・グリナリウム淡路島・県立淡路島公園・A1駐車場・A2駐車場・淡路IC高速バス停前
		反時計回り	9	9	
	あわ神あわ姫バス 南部観光周遊回り (淡路市生活観光バス)	南行き	3	3	北淡事務所前・浅野・北淡IC・室津西・幸せのバンケーキ前・尾崎・郡家・聖寿堂前・伊弉諾神宮前・津名一宮IC・淡路ワールドパークONOKORO・志筑・津名港ターミナル
		北行き	3	3	
南あわじ市域	らん・らんバス 中央循環線 (らんちゃん号)	時計回り	13	13	陸の港西淡・マルナカ前・松美橋・徳長・小椋列・西川・三原中学校前・南あわじ警察署前・南あわじ市役所前・中八木・平成病院前・中八木集会所先・イングランドの丘・淡路島牧場前・鳥井・立石・パルティ前・円行寺・市・三条・神代・中林病院前・南所公会堂前・イオン南淡路店前
		反時計回り	13	13	
	らん・らんバス 南北幹線 (すいせん号)	上り	7	7	来川・沼島汽船場前・筒井・都劇場前・当麻陵前・国衛・中林病院前・神代・神代小学校前・富田公会堂前・浦壁・きらら・ウィンス前・南所公会堂前・イオン南淡路店前・陸の港西淡
		下り	7	7	
	らん・らんバス 東循環線 (さんちゃん号) 榎列・八木ルート	時計回り	3	3	南あわじ市役所前・パルティ前・立石・八木病院前・鳥井・榎列BS・松田・榎列小学校前・大榎列・大榎列南・小椋列北・小椋列・西川・三原中学校前・三条・神代・中林病院前・神代小学校前・富田公会堂前・浦壁・きららウィンス前
		反時計回り	3	3	
	らん・らんバス 東循環線 (さんちゃん号) 八木・市ルート	時計回り	3	3	
		反時計回り	3	3	
	らん・らんバス 東循環線 (さんちゃん号) 市・神代ルート	時計回り	3	3	淡路三原高校前・南あわじ市役所前・南あわじ警察署前・三原中学校前・西川・小椋列・徳長・松美橋・マルナカ前・陸の港西淡・玉青館前・シーバ前・湊地区公民館前・湊・淡路島南IC
		反時計回り	3	3	
	らん・らんバス 西循環線 (せい太くん号)	時計回り	8	8	中林病院前・神代・南所公会堂前・イオン南淡路店前・原田・淡路人形座前・当麻陵前・都劇場前・筒井
		反時計回り	7	7	
	らん・らんバス 南循環線 (うずしお号) 福良ルート	時計回り	3	3	中林病院前・神代・南所公会堂前・イオン南淡路店前・原田・淡路人形座前・当麻陵前・都劇場前・筒井
		反時計回り	5	5	
	らん・らんバス 南循環線 (うずしお号) 額集ルート	時計回り	2	2	中林病院前・神代・南所公会堂前・イオン南淡路店前・原田・淡路人形座前・当麻陵前・都劇場前・筒井
		反時計回り	2	2	
	らん・らんバス 北循環線 (ゆめるん号) 松帆ルート	時計回り	2	2	広田公民館前・イングランドの丘・中八木集会所先・平成病院前・中八木・淡路島牧場前・鳥井・八木病院前・立石・パルティ前・南あわじ市役所前・南あわじ警察署前・三原中学校前・西川・小椋列・小椋列北・大榎列南・大榎列・榎列小学校前・松田・榎列BS (下り)・掬守・榎列BS (上り)・慶野・萬松園前・湊・湊地区公民館前・シーバ前
		反時計回り	2	2	
	らん・らんバス 北循環線 (ゆめるん号) 広田ルート	時計回り	4	4	
		反時計回り	3	3	
	らん・らんバス 北循環線 (ゆめるん号) 倭文ルート	時計回り	2	2	
		反時計回り	1	1	

出典：「あわじ足ナビ 路線バス、コミュニティバス、旅客船時刻表」よりパソナ作成

③タクシー

島内のタクシー会社は 12 社ある。

近年、利用者数はほぼ横ばいであるが、Uber アプリの導入により、外国人観光客の利用が大幅に増えた。

島内のタクシー乗り場は 6 カ所（岩屋、東浦、志筑、洲本、陸の港西淡、福良）あり、電話等による配車により、島内全域で利用可能である。なお、タクシー会社ならではの取り組みとして、団体利用ジャンボタクシーの配車、淡路島出身ドライバーによる観光地案内、介護タクシーによる車いす利用者の観光促進を行っている。

【図表 35】タクシー運行状況

	タクシー会社名	所有台数
淡路市域	淡路タクシー(株)／志筑営業所	14（志筑・洲本・市営業所合計）
	(有)浦タクシー	10
	(有)一宮タクシー	7
	(有)中淡タクシー	6
	(有)北淡タクシー	7
洲本市域	淡路タクシー(株)／洲本営業所	14（志筑・洲本・市営業所合計）
	清水タクシー	7
	(株)洲本観光タクシー	20
	洲本タクシー	11
南あわじ市域	淡路タクシー(株)／市営業所	14（志筑・洲本・市営業所合計）
	鳴門タクシー	18
	(有)みなとタクシー	9
	三原タクシー	3
	南あわじ観光タクシー	6

出典：兵庫県タクシー協会淡路支部へのヒアリング結果よりパソナ作成

④レンタカー

島内 8 カ所にレンタカー会社が点在している。

関西圏の観光客は、大阪や神戸にあるレンタカー会社を利用するため、島内のレンタカー会社を利用しない傾向にある。理由としては費用が安く済むこと、高速バス等からの乗り換えが不要であることが挙げられる。

【図表 36】レンタカー運営状況

レンタカー会社名	アクセス	送迎
スカイレンタカー淡路島北店	本四海峡バス 東浦バスターミナル隣の『道の駅東浦ターミナルパーク』2F 淡路鳴門自動車道東浦インターより車で約5分	送迎可
オリックスレンタカー 淡路洲本カウンター	国道28号沿い、総合庁舎すぐ横	送迎不可
ニコニコレンタカー洲本海岸通店	洲本バスセンターから徒歩 2 分 洲本ポートターミナルから徒歩 2 分	送迎不可
洲本レンタリース 本社	兵庫県洲本市物部 3 丁目 1 1ー1 3 洲本市スポーツセンター横	全島配車・引取り可
洲本レンタリース オートレンタル大野店	洲本市金屋452-1	
スカイレンタカー淡路島中央店	縦貫線東桑間バス停から徒歩2分 淡路鳴門自動車道洲本インターより車で北東方面へ5分	送迎可（洲本港、洲本高速バスセンター、洲本インターバス停、洲本市内各ホテル）
エーケーオートレンタル	南あわじ市山添	送迎可（洲本インターチェンジ）
木下自動車	津名港ターミナルバス停から徒歩26分	送迎可（津名港バスターミナル）

出典：各社ホームページ、各施設へのヒアリング結果よりパソナ作成

⑤レンタサイクル

島内 9 カ所でレンタサイクルの利用が可能である。

レンタサイクルの利用者は、サイクリングを目的とした利用者と、観光地への交通手段としての利用者に二分されるが、両者とも増加傾向にある。ただし、季節や天候にも左右されるため、夏休みや気候の安定した月（3～5 月、8～11 月）の利用が比較的多い。

なお、自治体による島内サイクリングマップ、レンタサイクル会社独自のサイクリングマップなども多数発行されており、2 次交通として利用しやすい取組みも行われている。

【図表 37】レンタサイクル運営状況

運営協会・会社	アクセス	特徴
淡路島観光協会	岩屋観光案内所（岩屋ポートビル） 洲本観光案内所（洲本 B C） 南あわじ観光案内所	島内 3 つの案内所にてレンタサイクルを貸し出し 安価で気軽に借りることができる 世界観光モデルプラン等の観光施設利用促進に繋げたプランも用意されている ※世界観光モデルプラン（岩屋観光案内所のみ） 平成22年4月に淡路市が開始した電動レンタサイクル 電動自転車と観光施設利用促進の一体型プランで、淡路市が指定する市内の施設で1500円以上利用することを条件に、安価なレンタサイクル利用料金が適用される
レンタサイクル「陸の駅西淡」	陸の港西淡	平成30年4月から観光客向けレンタサイクル事業として開始 敷地内に電動付きなど10台を用意したレンタサイクルステーションを開設し、運営は大手旅行会社に委託 需要が増えているため、15台へ台数を増やす予定
Cyclism AWAJI	東浦バスターミナル	レンタサイクルを約40台常備し、初級～中・上級者どちらの顧客ニーズにも対応している ターミナル内観光協会の隣にカウンターがあるため利便性が高く、島内のデリバリーサービス・乗捨てにも対応している
Bicycle Hub Awaji	東浦バスターミナル	レンタサイクルを約 40 台常備 ロードバイク等のスポーツ系が中心となるが、初心者向けの顧客をメイン対象としている
おでかけ工房	高速バス停「尾崎上の浜」より徒歩10分	フェリー乗り場、宿泊先など、淡路島内であれば、レンタサイクルの配達・回収も可（日祝のみ）
バイカーズカフェ Circolo	岩屋港から徒歩30分（約1.5km） 高速バス淡路ICバス停より徒歩19分 神戸淡路鳴門自動車道 淡路ICより車5分	カフェ併設のレンタサイクル ロードバイクのメンテナンス・レンタルも行う
ともちゃり	岩屋ポート	スカイレンタカーによる運営 初級者向けの電動アシスト・クロスバイクがメインで、ジェノバラインを利用して来島する老弱男女、幅広い年齢代が利用している 気軽に回れる手作りのサイクルマップ等の作成も行っており、フェリー路線からの来訪顧客（日帰り客中心）向けのサービスに力を入れている

出典：各社ホームページ、各施設へのヒアリング結果よりパソナ作成

（3）主要結節点における 1 次交通・2 次交通の利用可能手段及び路線

淡路島においては、1 次交通として、旅客船、高速バス、2 次交通として、路線バス、コミュニティバス、タクシー、レンタカー、レンタサイクルが利用されており、各々主要結節点で接続され、観光としての利用も可能となっている。

【図表 38】1 次交通・2 次交通の主要結節点

エリア	主要結節点	1次交通			2次交通			
		船舶	高速バス	路線バス	コミュニティバス	タクシー	レンタカー	レンタサイクル
淡路市	岩屋ポートターミナル	淡路ジェバライン			あわ神あわ姫バス（北部観光周遊回り） あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り）	電話・配車アプリ等により島内全域をカバー	送迎により島内全域をカバー	淡路島淡路島観光協会（岩屋観光案内所） ともちやり
	淡路IC		高速バス（舞子・福良線） 高速バス（三ノ宮・洲本線／学園都市・洲本線） 高速バス（三ノ宮・西浦線） 高速バス（大阪－洲本線） 淡路島特急線 かけはし号（洲本IC経由） かけはし号（津名港経由） かけはし号（津名港経由、かけはし洲本温泉号） 関西空港リムジンバス 阿波エクスプレス京都号		あわ神あわ姫バス（北部観光周遊回り）			
	ニジゲンノモリ 淡路ハイウェイオアシス		かけはし号（NARUTO大阪号、洲本温泉号） かけはし号（NARUTO神戸号）		あわ神あわ姫バス（北部観光周遊回り）			
	鶴崎		大磯号		あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り）			
	聖隷淡路病院前		大磯号		あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り）			
	淡路夢舞台前		大磯号		あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り）			
	大磯港BT		大磯号		あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り）			
	東浦BT		大磯号		あわ神あわ姫バス（北部観光周遊回り） あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り）			Bicycle Hub Awaji Cyclism AWAJI
	本四仁井		高速バス（舞子・福良線） 高速バス（三ノ宮・洲本線／学園都市・洲本線） 高速バス（三ノ宮・西浦線） 高速バス（大阪－洲本線） かけはし号（洲本IC経由） かけはし号（津名港経由） かけはし号（津名港経由、かけはし洲本温泉号） かけはし号（NARUTO大阪号、洲本温泉号） かけはし号（NARUTO神戸号）		あわ神あわ姫バス（東浦北淡線）			
	北淡IC		高速バス（舞子・福良線） 高速バス（三ノ宮・洲本線／学園都市・洲本線） 高速バス（三ノ宮・西浦線） 高速バス（大阪－洲本線） 淡路島特急線 かけはし号（洲本IC経由） かけはし号（津名港経由） かけはし号（津名港経由、かけはし洲本温泉号） かけはし号（NARUTO大阪号、洲本温泉号） かけはし号（NARUTO神戸号）		あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り） あわ神あわ姫バス（南部観光周遊回り）			
	室津		高速バス（三ノ宮・西浦線）		あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り）			
	尾崎上の浜		高速バス（三ノ宮・西浦線）		あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り）			おでかけ工房
	群家		高速バス（三ノ宮・西浦線）		あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り） あわ神あわ姫バス（南部観光周遊回り）			
	伊弉諾神宮前		高速バス（三ノ宮・西浦線）		あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り） あわ神あわ姫バス（南部観光周遊回り）			
	津名一宮IC		高速バス（舞子・福良線） くうみライナー 淡路島特急線 かけはし号（洲本IC経由） かけはし号（洲本IC経由：ライナー便） かけはし号（NARUTO大阪号、洲本温泉号） かけはし号（NARUTO神戸号） 関西空港リムジンバス	路線バス 鮎原線	あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り） あわ神あわ姫バス（南部観光周遊回り）			
	津名港		高速バス（三ノ宮・洲本線／学園都市・洲本線） 高速バス（大阪－洲本線） かけはし号（津名港経由、かけはし洲本温泉号） かけはし号（津名港経由）	路線バス 縦貫線	あわ神あわ姫バス（南部観光周遊回り）			
	志筑		高速バス（三ノ宮・洲本線／学園都市・洲本線）	路線バス 縦貫線	あわ神あわ姫バス（時計回り・反時計回り） あわ神あわ姫バス（南部観光周遊回り）			
	WPおのころ		高速バス（三ノ宮・洲本線／学園都市・洲本線）	路線バス 縦貫線	あわ神あわ姫バス（南部観光周遊回り）			
洲本市	高田屋嘉兵衛公園		高速バス（三ノ宮・西浦線）		洲本市コミバス（五色地域）			
	五色バスセンター		高速バス（三ノ宮・西浦線）	路線バス 都志線	洲本市コミバス（五色地域）			
	洲本BC		高速バス（三ノ宮・洲本線／学園都市・洲本線） 高速バス（淡路－徳島線） 高速バス（大阪－洲本線） かけはし号（洲本IC経由） かけはし号（洲本IC経由：ライナー便） かけはし号（津名港経由） かけはし号（津名港経由、かけはし洲本温泉号） かけはし号（NARUTO大阪号、洲本温泉号） かけはし号（NARUTO神戸号）	路線バス 縦貫線 路線バス 島飼線 路線バス 都志線 路線バス 長田線 路線バス 由良線	洲本市コミバス（上瀬・沼島線） 洲本市コミバス（五色地域）			淡路島淡路島観光協会（洲本観光案内所）
	宇山		高速バス（三ノ宮・洲本線） かけはし号（洲本IC経由） かけはし号（洲本IC経由：ライナー便）	路線バス 縦貫線				
	洲本IC		高速バス（三ノ宮・福良線／舞子・福良線） 高速バス（淡路－徳島線） くうみライナー 淡路島特急線 かけはし号（洲本IC経由） かけはし号（洲本IC経由：ライナー便） かけはし号（津名港経由、かけはし洲本温泉号） かけはし号（NARUTO大阪号、洲本温泉号） かけはし号（NARUTO神戸号） 関西空港リムジンバス 阿波エクスプレス京都号	路線バス 縦貫線				
	緑PA		高速バス（三ノ宮・福良線／舞子・福良線） 高速バス（淡路－徳島線） くうみライナー 淡路島特急線		らん・らんバス（ゆめるん号）			
	榎列		高速バス（三ノ宮・福良線／舞子・福良線） 高速バス（淡路－徳島線） くうみライナー 淡路島特急線		らん・らんバス（さんちゃん号） らん・らんバス（ゆめるん号）			
南あわじ市	陸の港西淡		高速バス（三ノ宮・福良線／舞子・福良線） くうみライナー 淡路島特急線		らん・らんバス（さんちゃん号） らん・らんバス（すいせん号） らん・らんバス（せい太くん号）			レンタサイクル「陸の駅西淡」
	高速淡路志知		あわじうどん線		らん・らんバス（さんちゃん号） らん・らんバス（すいせん号） らん・らんバス（せい太くん号）			
	志知		関西空港リムジンバス 阿波エクスプレス京都号		らん・らんバス（さんちゃん号） らん・らんバス（すいせん号） らん・らんバス（せい太くん号）			
	西淡志知		高速バス（淡路－徳島線） 高速バス（舞子・福良線）		らん・らんバス（さんちゃん号） らん・らんバス（すいせん号） らん・らんバス（せい太くん号）			
	原田		高速バス（三ノ宮・福良線／舞子・福良線）		らん・らんバス（うずしお号）			
	福良		高速バス（三ノ宮・福良線／舞子・福良線）	路線バス 縦貫線	らん・らんバス（うずしお号）			淡路島観光協会（南あわじ観光案内所）
	淡路島南IC		高速バス（三ノ宮・福良線／舞子・福良線） 高速バス（淡路－徳島線）		らん・らんバス（せい太くん号）			
	土生港	沼島汽船			らん・らんバス（すいせん号） 洲本市コミバス（上瀬・沼島線）			

出典：各社ホームページ、「あわじ足ナビ 路線バス、コミュニティバス、旅客船時刻表」よりパソナ作成

2. 島内における多言語化、Wi-Fi 整備、キャッシュレス化の現状

(1) 島内における主要施設ごとの多言語化、Wi-Fi 整備、キャッシュレス化の対応状況

①主要施設の多言語化状況

a) ホームページの状況

主要観光施設 17 箇所の公式ホームページの状況を調査した結果、多言語化されている施設は、以下の 4 施設であった。

多言語化に対応している施設では、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語に対応している。

他方、残りの 13 施設では多言語化に対応しておらず、その理由として、改修費が捻出できないことや、仮に多言語化したとしても外国人利用者の増加が期待できないと考えられる。

【図表 39】観光施設におけるホームページの多言語化状況

カテゴリ	観光施設名称	HP対応言語			
		英語	中(簡)	中(繁)	韓
アミューズメント	淡路島国営明石海峡公園	●	●	●	●
アミューズメント	淡路ファームパーク イングランドの丘	●	●	●	●
アミューズメント	道の駅 うずしお	●	●	●	●
海事観光	うずしおクルーズ	●	●	●	

出典：各社ホームページ、各施設へのヒアリング結果よりパソナ作成

b) 施設の状況

現地調査の結果、多言語で表記された POP や看板の設置、パンフレットの作成等を行っている施設は複数あるが、多言語対応のスタッフを配置している施設はなかった。

【図表 40】観光施設内における多言語化状況

カテゴリ	観光施設名称	多言語化状況
アミューズメント	淡路ワールドパークONOKORO	タブレットを活用した多言語案内を実施
アミューズメント	松帆アンカレイジパーク	POPや看板にて多言語案内を実施
アミューズメント	淡路島国営明石海峡公園	英語・中国語（簡/繁）・韓国語でパンフレットを作成
海事観光	淡路じゃのひれ	英語表記のPOPを作成
海事交通	成ヶ島渡船	英語表記の看板を設置

出典：各社ホームページ、各施設へのヒアリング結果よりパソナ作成

②主要施設のキャッシュレス化の状況

クレジットカード決済を導入している施設は複数あったが、QRコード決済など近年普及した決済方法を導入している施設は少数であった。

【図表 41】観光施設内におけるキャッシュレス化の状況

カテゴリ	観光施設名称	可能な決済手段
アミューズメント	淡路ハイウェイオアシス	クレジットカード
アミューズメント	淡路ワールドパークONOKORO	クレジットカード
アミューズメント	松帆アンカレイジパーク	クレジットカード
アミューズメント	道の駅 うずしお	クレジットカード・QRコード決済・電子マネー
海事観光	ジョイポート南あわじ	インターネット予約で支払い可能

出典：各社ホームページ、各施設へのヒアリング結果よりパソナ作成

③主要施設の Wi-Fi 整備状況

Wi-Fi を設置している施設は、多言語化やキャッシュレス化に対応している施設より比較的多かった。

【図表 42】Wi-Fi を整備している施設一覧

淡路ハイウェイオアシス	淡路島ファームパーク イングラウンドの丘
淡路ワールドパークONOKORO	道の駅うずしお
松帆アンカレイジパーク	あわじ花さじき
淡路島国営明石海峡公園	うずしおクルーズ
県立淡路島公園・ニジゲンノモリ	

出典：各社ホームページ、各施設へのヒアリング結果よりパソナ作成

④交通施設等における対応の状況

各主要結節点のうち、岩屋ポートターミナル、東浦バスターミナル、洲本バスセンター、陸の港西淡、福良については、多言語化やキャッシュレス化に対応の差があるものの、観光案内所や Wi-Fi が設置されており、外国人観光客にとって、比較利用しやすいといえる。

3. 観光情報の発信方法に関する現状

(1) SNS の活用実態

島内アミューズメント施設では積極的に SNS を活用している。

【図表 43】情報発信における SNS の活用状況

カテゴリ	観光施設名称	Instagram		Twitter		Facebook	YouTube	
		投稿数	フォロワー	投稿数	フォロワー	フォロワー	視聴回数	登録者数
アミューズメント	淡路ハイウェイオアシス	828	3,195	—	—	142	—	—
アミューズメント	淡路ワールドパークONOKORO	152	823	—	—	1,375	169,653	97
アミューズメント	松帆アンカレイジパーク	225	1,374	—	—	1,515	—	—
アミューズメント	淡路島国営明石海峡公園	227	1,645	1,729	235	2,351	—	—
アミューズメント	県立淡路島公園・ニジゲンノモリ	790	9,666	4,832	4,826	85,000	2,360,778	不明
アミューズメント	淡路ファームパーク イングランドの丘	314	1,528	17,000	12,000	5,231	11,630	318
アミューズメント	道の駅 うずしお	—	—	—	—	10,748	—	—
スポーツ・レクリエーション	淡路島牧場	69	850	—	—	133	—	—
自然	あわじ花さじき	—	—	—	—	4,086	—	—
歴史・文化	伊弉諾神宮	—	—	—	—	574	—	—
歴史・文化	洲本城跡	—	—	—	—	—	—	—
歴史・文化	おのころ島神社	—	—	—	—	131	—	—
イベント	淡路島祭り	—	—	—	—	2,808	—	—
イベント	淡路島ロングライド150	—	—	—	—	—	—	—
イベント	淡路国生みマラソン全国大会	—	—	—	—	—	—	—
イベント	うみぞら映画祭	148	1,178	479	3,810	2,359	418,739	1,320
海事観光	沼島おのころクルーズ	—	—	—	—	—	—	—
海事観光	ジョイボート南淡路	34	158	—	—	2,032	—	—
海事観光	シームーンリゾート	—	—	—	—	457	—	—
海事観光	淡路じゃのひれ	50	353	—	—	824	3,506	41
海上交通	淡路ジェノバライン	11	121	1,827	1,531	248	—	—
海上交通	沼島汽船	—	—	—	—	—	—	—
海上交通	成ヶ島渡船	—	—	—	—	—	—	—

出典：各社ホームページ、各施設へのヒアリング結果よりパソナ作成

(2) 効果的な情報発信の事例

近年、淡路島地域においても、地域の活性化を目的としたローカルメディア、オウンドメディアが立ち上がり、一方向の情報発信ではなく、双方向でやりとりできるコンテンツが増えつつある。

これらは島内在住者自らが発信しているコンテンツであり、大手メディアでは発信されないローカルな情報を取り扱っている。

① 淡路島への移住・釣り・グルメブログ「淡路島ライフ」(<https://suzushige.net/>)

大学卒業後、淡路島に移住したスズキシゲハルさんによる、釣りを中心とした情報発信系ブログ

a) あまり釣りに行けない人向けの情報

幼少期に釣りに行くことがあまりできなかったという著者の経験から、自身と同じ境遇の読者向けに、釣りのメソッドやパターン、気づきを発信している。記事の情報が読者に評判が良く、現在は月間 15 万 PV を達成している。

【図表 44】淡路島ライフの記事の一例

タマケル

メバルを惑わす魔性のルアー「滯示威SOLID」を紹介しよう

2019-07-17 / 2020-05-04



プロフィール



HN: スズキシゲハル

月間10万アクセスの釣り&グルメネタのブログ「淡路島ライフ」運営者。淡路島の新鮮&ディープなネタを近畿のあなたにお届け！淡路島の魅力を発信するべく、あれこれいろんなことをしています。

>>>プロフィール詳細はこちら

Follow ME!



出典：ブログ「淡路島ライフ」ホームページより

b) 初見・観光でも行きやすくなるレストラン情報

メニュー以外に、店内の雰囲気や子連れで入店が可能かどうか、本音でつけた料理の評価など、初見でも安心してお店を選ぶことができるような参考情報を紹介している。

【図表 45】ブログ内の飲食店紹介画像



出典：ブログ「淡路島ライフ」ホームページより

c) SNS の活用

Twitter では日常的なできごとや釣りあげた魚の速報を発信している。Facebook ではブログの最新記事を投稿。Instagram では、魚の写真を投稿している。

【図表 46】SNS の活用例



出典：ブログ「淡路島ライフ」の SNS アカウントより

②淡路島のローカルフリーペーパー「Dan」

淡路島にある広告会社によって発行されている淡路島の地元情報誌。グルメや体験企画、新店情報、島民紹介、レシピ等を掲載。女性の読者が多い。地元情報誌であるが、ホテルやレンタカー店、他県の施設でも配布しており、観光情報誌としても機能している。

a) 知れてうれしい生活情報×淡路

おいしくお米を炊く方法等、日常生活のなかで知れてうれしい情報に、特産品からできたご飯のお供といった淡路島特有の情報を掛け合わせている。淡路島と関係のないところで接点を作り、読み進めていくなかで淡路島への興味を喚起させる仕組みとなっている。

【図表 47】「Dan」の掲載内容



出典：「Dan」公式ホームページより

b) SNS の活用

Instagram、Facebook では編集部の日常や、情報誌作りの裏側、誌面では紹介していない小ネタなどを投稿している。Twitter では編集部によるコラム「ダンウェ部」を展開している。

【図表 48】Dan の SNS 活用例



出典：「Dan」の SNS アカウントより

③SilverNextLens

ドローンによる空撮に強みをもった南あわじ市に拠点を構える映像制作会社であり、沼島やうずしおクルーズ等海事関係のプロモーション動画の制作実績が多数ある。仙北インターナショナルドローンフェスティバル 2020 にて審査員特別賞を受賞するなど、空撮技術が高く評価されている。

【図表 49】SilverNextLens の制作実績



出典：「SilverNetLens」公式ホームページよりパソナ作成

Ⅲ．海上交通の現状

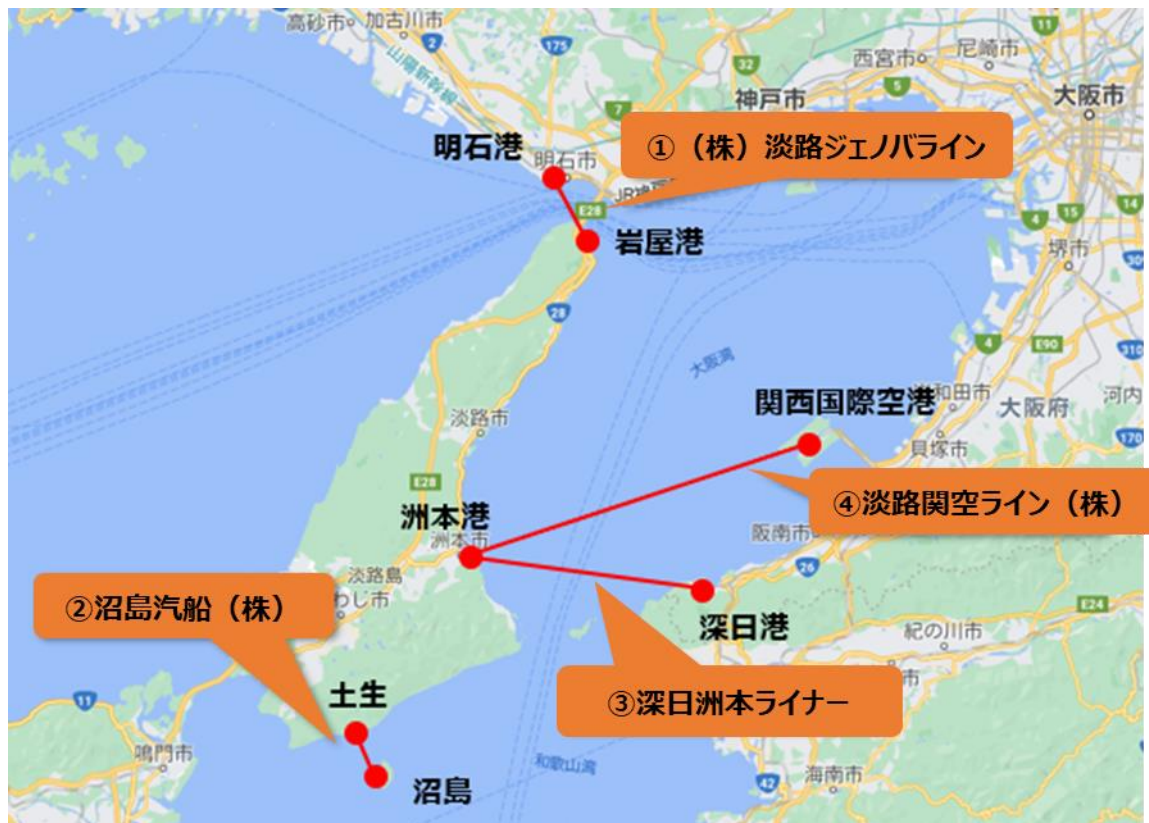
1. 島内で運航している旅客船の概要

(1) 対象航路の概要

淡路島においては、①（株）淡路ジェノバライン（岩屋港～明石港）、②沼島汽船（株）（沼島港～土生港）③深日洲本ライナー（洲本港～深日港）、④淡路関空ライン（株）（洲本港～関西国際空港）の4つの旅客船会社が運航している。

このうち、深日洲本ライナー、淡路関空ライン（株）は、現在運航を休止している。

【図表 50】旅客船航路図



出典：各社ホームページよりパソナ作成

【図表 51】対象航路の運航時刻

航路	運航時刻	
①（株）淡路ジェノバライン（明石港～岩屋港）	【岩屋港→明石港】 始発 05:20 終発 23:20	【明石港→岩屋港】 始発 05:40 終発 23:40
②沼島汽船（株）（沼島港～土生港）	【沼島港→土生港】 始発 06:20 終発 18:30	【土生港→沼島港】 始発 07:00 終発 19:00
③深日洲本ライナー（洲本港～深日港）※運航休止	【洲本港→深日港】 始発 09:15 終発 19:20	【深日港→洲本港】 始発 08:05 終発 18:05
④淡路関空ライン（株）（洲本港～関西国際空港）※運航休止	【洲本港→関西国際空港】 始発 04:45 終発 18:05	【関西国際空港→洲本港】 始発 06:40 終発 19:40

出典：各社ホームページよりパソナ作成

【図表 52】対象航路の便数（片道）

航路	運航時刻	
①（株）淡路ジェノバライン（明石港～岩屋港）	【岩屋港→明石港】 始発 05:20 終発 23:20	【明石港→岩屋港】 始発 05:40 終発 23:40
②沼島汽船（株）（沼島港～土生港）	【沼島港→土生港】 始発 06:20 終発 18:30	【土生港→沼島港】 始発 07:00 終発 19:00
③深日洲本ライナー（洲本港～深日港）※運航休止	【洲本港→深日港】 始発 09:15 終発 19:20	【深日港→洲本港】 始発 08:05 終発 18:05
④淡路関空ライン（株）（洲本港～関西国際空港）※運航休止	【洲本港→関西国際空港】 始発 04:45 終発 18:05	【関西国際空港→洲本港】 始発 06:40 終発 19:40

出典：各社ホームページよりパソナ作成

【図表 53】対象航路の運賃（片道）

航路	大人	子供
①（株）淡路ジェノバライン（明石港～岩屋港）	530円	270円
②沼島汽船（株）（沼島港～土生港）	480円	240円
③深日洲本ライナー（洲本港～深日港）※運航休止	1500円	500円
④淡路関空ライン（株）（洲本港～関西国際空港）※運航休止	2800円	1400円

出典：各社ホームページよりパソナ作成

2. 利用状況について

(1) 各社の動向

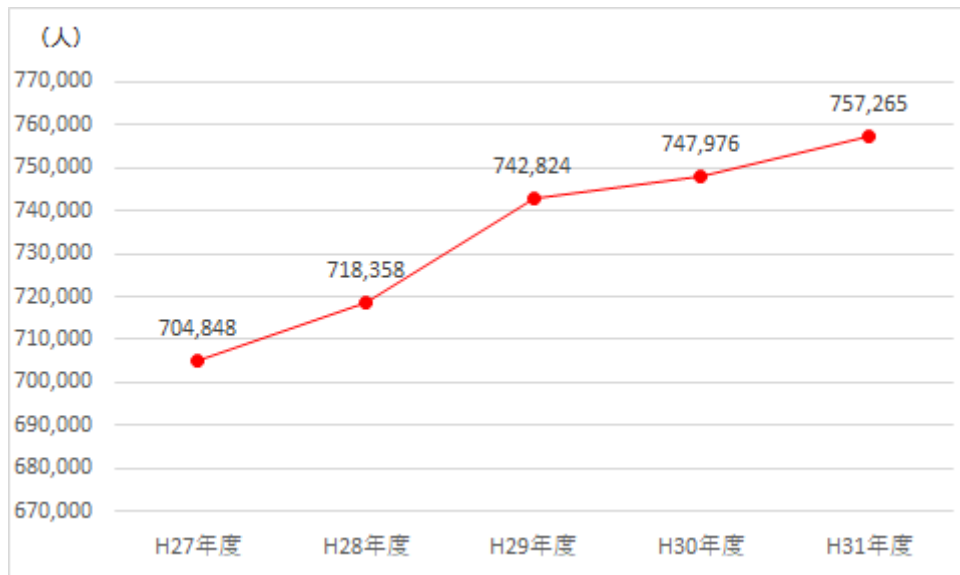
①(株)淡路ジェノバライン

利用客数は、平成 27 年度より年々増加傾向にある。運航状況については、午前 5 時～午後 11 時台に平日 76 便、休日 56 便を運航していたが、現在は、コロナの影響により減便ダイヤにて運航している。(平日：74 便→56 便、休日：56 便→42 便)

概ね 1 時間に 1 本の割合で 2 次交通となるコミュニティバスとの乗り継ぎが可能となる。

なお、使用船舶「まりん・あわじ」、「まりんふらわあ 2」、「レットスター 2」、「ジェノバ I」の 4 隻にて運航しており、メインとなる大型船「まりん・あわじ」には、旅客 180 名、自転車 20 台、125cc 以下の小型バイク 8 台が積載可能である。

【図表 54】淡路ジェノバライン利用者数

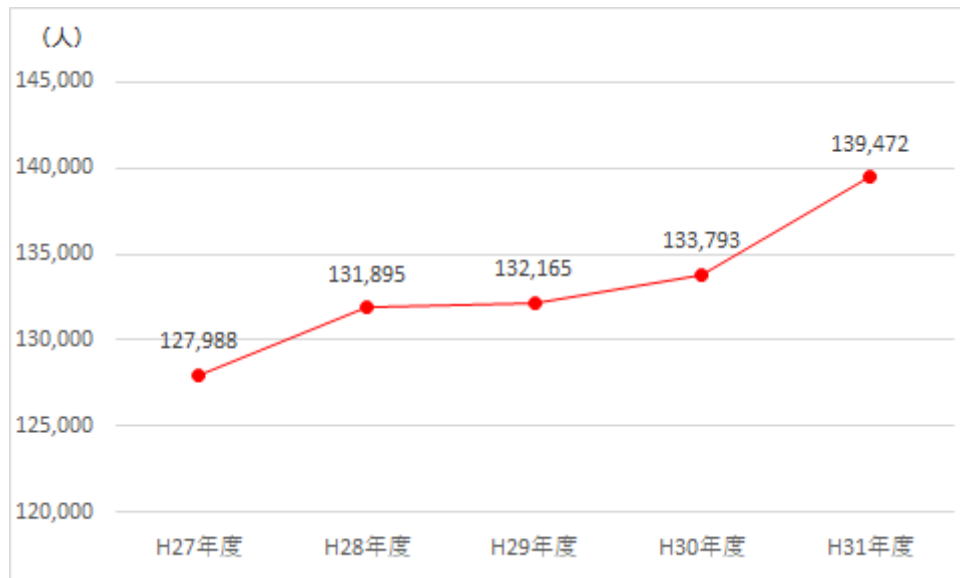


出典：(株)淡路ジェノバラインへのヒアリング結果よりバソナ作成

②沼島汽船(株)

沼島港と土生港（南あわじ市）を結ぶ沼島汽船は、離島である沼島の住民（人口430人 平成27年国勢調査）の生活航路となっている他、海水浴シーズン等における観光客の輸送を行っている。利用者は平成27年度以降、増加している。

【図表 55】沼島汽船利用者数



出典：沼島汽船（株）へのヒアリング結果よりバソナ作成

③深日洲本ライナー（社会実験）

洲本港と深日港（大阪府）間において広域交流の促進と地域の活性化を目的に、平成29年6月より社会実験として運航され、今年度も5月2日～11月3日の間運航を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

④淡路関空ライン(株)

平成29年7月に、定員217名の旅客船で洲本港～関西国際空港間の運航を開始した。

当初、年間90千人の利用を目標としたが、利用客が約17千人（平成29年6月末時点）と大きく下回ったことにより、1年で運航を休止した。

VI. 海事観光の先進事例、優良事例

1. 地方誘客を実現するための広域周遊の実現

(1) 瀬戸内 観光型高速クルーザー「SEA SPICA (シースピカ)」

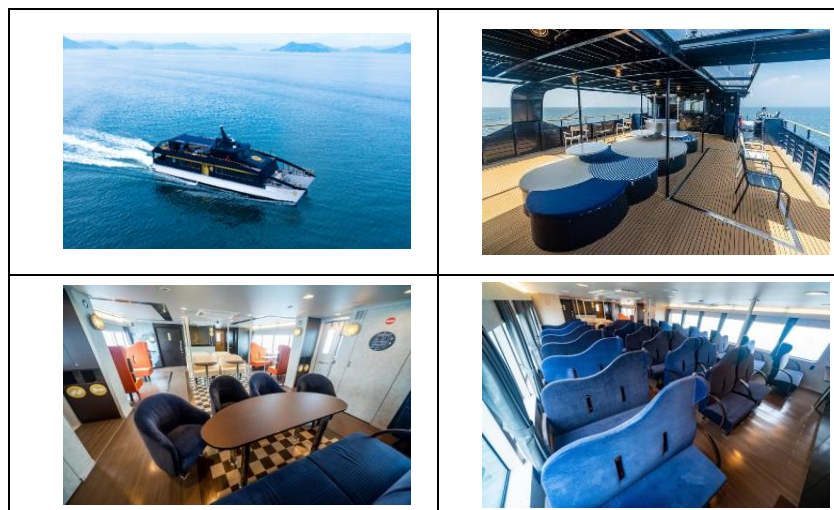
JR 西日本と瀬戸内海汽船(株)により、令和 2 年 9 月 2 日に運航開始された観光に特化した「高速船」である。広島港を出港し三原港までの“東向きコース”と三原港を出港し広島港までの“西向きコース”があり、海事と造船の町である「呉」や 900 羽以上のうさぎが住む『うさぎ島』の愛称で親しまれている「大久野島」を回るなど、瀬戸内特有の話題性のあるスポットを訪れることができる。

個人旅行向けの料金は、広島港～三原港間が 6,000 円前後、運航日は月曜、金曜、土曜、日曜である。

【先進・優良ポイント】

- a) 「生活路線」としての高速船ではなく、観光利用に特化した高速船である。
- b) 各立ち寄り港で、地元の方のお出迎えや特産品の販売、レンタサイクルの貸し出しなども行われ、観光客を楽しませる工夫をしている。
- c) 操舵室設置のカメラからの映像を 1 階キャビン前面部のディスプレイに投影し、船長目線の前面眺望を楽しむことができる。

【図表 56】外観・船内のデザイン



出典：瀬戸内海汽船「SEA SPICA」公式ホームページより

【図表 57】航行ルート



出典：JR 西日本「せとうちパレットプロジェクト」公式ホームページより

(2) 南海フェリー

和歌山港～徳島港（フェリーターミナル）を1日8便（往復）、所要時間約2時間で運航している大型フェリーである。

令和元年に新たな大型船舶「フェリーあい」（旅客定員427名。車両積載数：8トントラック換算37台）が就航した。

神戸淡路鳴門自動車道を経由する大型トラックや自家用車の他、四国から関西国際空港へ向かう観光客等をターゲットとした利用者の増加に努めている。

【先進・優良ポイント】

- 楽天トラベル・じゃらんとタイアップにより、フェリー利用者向けの宿泊割引プランを多数展開している。
- 「一言投稿プレゼント企画」、「写真投稿キャンペーン」などSNSを積極的に活用している。
- フェリー片道乗船券と南海電鉄の片道乗車券を割引価格でセットにしたお得な切符「好きっぽ（すきっぽ）」を販売している。
- 主要観光施設とのセット割引券を発行している。（ポルトヨーロッパセット券・高野山参拝者向けセット券）
- 船内はFree Wi-Fiを完備している。

【図表 58】南海フェリーの外観



【図表 59】南海フェリーの航行ルート



【図表 60】好きっふ



出典：南海フェリー(株)公式ホームページより

2. 富裕層の誘致に向けた環境整備

(1) 豪華チャーターヨット等のプレジャーボート利用による滞在型周遊ツアー活性化の環境整備

近年、大型プレジャーボートにより来日する外国人が見られる。また、外国人旅行客がマリーナ等から船長を含めてプレジャーボートをチャーターし、クルーズ観光を楽しむ例が出始めているが、我が国のプレジャーボートは小型が主流であり大型のプレジャーボートの受入れ環境が整っていないことから、欧米の事例を国内に展開し、外国人旅行客の満足度の向上を図る必要がある。

このため、国土交通省中部運輸局は観光庁と連携し、本場欧州の関係者を招聘し、令和元年10月～令和2年3月の間、プレジャーボートを活用した国内初となる滞在型周遊ツアー事業の実証実験を行った。当該実証事業においては、欧州のツアー事業者等に、チャーターしたプレジャーボートで6泊7日のツアーを実施した。

ツアールートは下記のとおり。

- ・マリンチック街道「伊勢湾」のある伊勢・志摩・鳥羽地域
- ・自然、水産、文化等の海上観光と陸上観光の施設を周遊
- ・宿泊は船内施設を基本に陸上の宿泊施設も利用

当該実証実験により、滞在型周遊ツアー事業化のための課題を検討するとともに、地域経済への効果や全国への事業の普及策の検討を行った。

(国土交通省 中部運輸局 プレジャーボート利用のインバウンド対応事業の実証実験の結果)

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/kaishin2020031001.pdf>

【先進・優良ポイント】

- a) 欧州では、豪華チャーターヨット等を利用した滞在型周遊ツアーは、クルーズ旅客事業と並ぶ市場規模を有しており、滞在型周遊ツアーの造成により、インバウンド旅客の取り込みと満足度の向上が期待できる。
- b) 大型プレジャーボートを利用する外国人に関しては富裕層が多いため、マリーナ等受け入れる寄港地において、富裕層の消費拡大が期待できる。

(スーパーヨット消費額目安：1隻あたり1ヶ月の消費額が1,500万円～2,000万円、

豪華チャーターヨット消費額目安：1隻あたり1日の宿泊チャーター料が約30万円)

【図表 61】事業で使用するプレジャーボートのイメージ図



出典：国土交通省「大型プレジャーボートを利用した海洋観光に係るインバウンド対応事業」より

【図表 62】伊勢湾のマリンチック街道 モデルルート概要



出典：国土交通省「大型プレジャーボートを利用した海洋観光に係るインバウンド対応事業」より

3. 離島へのアイランドツーリズムの推進

(1) 企画乗船券「SADO-NIIGATA PASS」の造成・販売

新潟から佐渡島までのフェリー利用において、インバウンドの個人旅行客が増加している背景から、佐渡島の観光拡大を図るため「SADO-NIIGATA PASS」の企画乗船券を販売している。

販売実績として、平成 29 年度 226 枚（平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）、平成 30 年度 539 枚（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日）と、前年比 238.4%と利用者を大きく拡大している。利用者の内訳は、アジア圏が約 83.0%を占め、中でも台湾の利用者が 37.3%となっている。英語や中国語等の多言語化したチラシを作成、ホームページに掲載したことで宣伝強化に繋がり、利用者拡大となった。

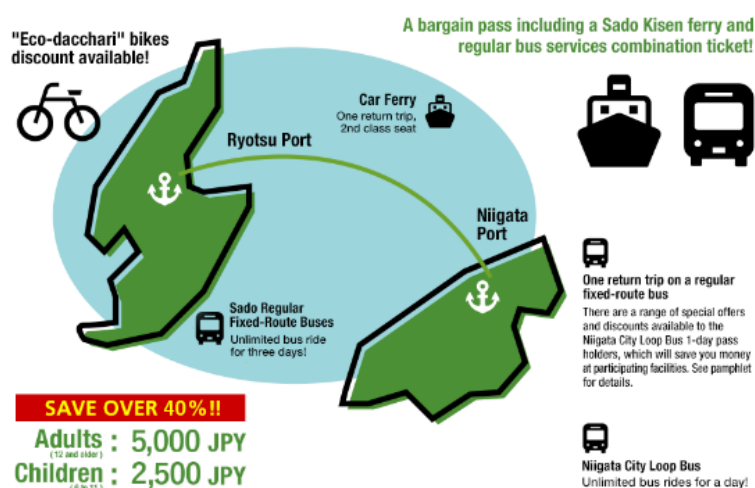
パスに含まれるもの

- ・新潟～佐渡（両津） 往復カーフェリー乗船券
- ・新潟駅～佐渡汽船ターミナル 往復バスチケット
- ・佐渡島内の路線バス乗車券
- ・新潟市内の観光循環バス 1 日フリー乗車券

【先進・優良ポイント】

- 新幹線駅、離島までのフェリー乗船券、島内の交通をセットで販売している。
- 各運送事業者は普通運賃の 40%割引と格安な価格で提供している。
- ホームページやリーフレットなどが多言語化しておりインバウンド旅客に対応している。
- JR 東日本のウェブサイトにて、佐渡島を含めた越後地域にあるグルメや観光施設などの魅力を訴求している。

【図表 63】航行ルートのイメージ図と料金



出典：佐渡観光交流機構「SADO NIIGATA PASS」公式ホームページより

【図表 64】JR 東日本のウェブサイト掲載の新潟/佐渡の紹介ページ

Recommended Sights



Seasonal scenery at the Northern Culture Museum

Northern Culture Museum

This museum is housed in a resplendent Japanese-style mansion, the former family residence of the preeminent landowner in the region. Take a peek at the more than 65 rooms where this gono* once lived and stroll around the beautiful Japanese garden. From the cherry blossoms of spring to the richly colored leaves of autumn, you can enjoy nature's splendor year-round.

(10 minutes from Niitsu Station by taxi)

*A gono was the home of a wealthy farming family, which lived at the Edo Period. With large landholdings and financial power, such families held great influence over the local area.



The freshest sushi: Kiwami Sushi

Kiwami Sushi

When it comes to Niigata sushi, this chain of restaurants serves the best of the best. From tuna to salmon roe to sea urchin, the menu is chosen daily from only the freshest locally caught fish by the discerning eye of a sushi master. If you're looking for the very best seafood that the Sea of Japan offers, then this is the place to be.

(Many locations in the Niigata Station area)



Sample Japanese sake at Ponshukan

Ponshukan

Have your fill of Niigata's own rice and sake at this museum located inside Echigo-Yuzawa and Niigata Stations. The highlight is a well-stocked tasting room featuring more than 90 kinds of sake from which to sample (a fee applies). At Echigo-Yuzawa Station you can even take a dip in a sake hot spring bath for the full experience!

(Get off at Echigo-Yuzawa or Niigata Stations)



Sanju Yagura

Takada Park

Takada Castle, constructed in 1614 for Matsudaira Tadateru, the sixth son of Tokugawa Iyessu. The park is counted as one of the three great locations for viewing cherry blossoms at night in spring, and is even certified as an illuminated night view cultural treasure of Japan. In summer, the Toyo lotuses come into bloom, filling the 19-hectare outer moat with their beauty. When visiting, make sure to stop by the restored Sanju Yagura (castle keep) to see the sweeping view of the park it provides.



Taraibune wooden tub-boats

Sado

Home to a traditional culture, this verdant island on the Sea of Japan is just about 60 minutes from Niigata on the Sado Kisen Jetfoil. Named after an offshore crag resembling two turtles, nearby Futatsugame beach is a great place for a dip in the sea. At Ogi Port you can take a ride in a taraibune, a tub-shaped wooden fishing boat still used to this day. The Sado Gold Mine, once the leading producer of gold and silver in Japan, is a great field trip destination. And every year from April to October, especially in June, locals from around the island perform nighttime Noh theater by firelight, a tradition that peaks in June. It takes about 60 minutes to Sado Island on the Sado Kisen Jetfoil.

(About 60 minutes to Sado Island on the Sado Kisen Jetfoil. Departs from the Niigata Port Sado Kisen Ferry Terminal accessible by bus from Niigata Station.)

出典：JR 東日本「Featured Destination Niigata/Sado」公式ホームページより

4. マリンアクティビティ等の海事観光コンテンツの磨き上げ

(1) マリンスポーツでまちおこし

三重県熊野市の新鹿海水浴場は、「日本の海水浴場百選」に選ばれ、毎夏多くの海水浴客で賑わっていたが、近年はレジャーの多様化に伴い、ピークだった昭和 60 年の約 37,900 千人から平成 27 年には約 7,600 千人まで減少した。

熊野マリンスポーツ推進委員会では、こうした状況に対応するために新たな観光誘客を図り、熊野市をマリンスポーツで賑わう町にすると計画した。地元の漁師や漁業関係者などの協力を得て「熊野シーカヤックマラソン大会」を開催した。

また、地元の婦人会の協力を得て、めはり寿司やさんま寿司などを用意し、競技を終えた選手に振舞った。今後は、熊野の自然を活かしたスポーツで地域の活性化を進めていくこととしている。

【先進・優良ポイント】

- a) 地元の漁業関係者等や婦人会等と連携し、シーカヤックマラソン大会当日に郷土料理等の提供を行い、地元の食をアピールしている。
- b) シーカヤックマラソン大会当日には、SUP 体験やビーチバレーといった選手以外の人たちも楽しめるレクリエーションを提供している。
- c) 付近には、世界遺産に登録された熊野古道などの観光資源が豊富で、マリンスポーツをきっかけにして地元の観光コンテンツを大会参加者にアピールし誘客を図っている。

【図表 65】海水浴場の位置



出典：熊野市観光スポーツ交流課「ビーチ・マリンスポーツフェスティバル in ATASHIKA」公式ホームページより

【図表 66】熊野シーカヤックマラソン大会



出典：熊野市観光スポーツ交流課「ビーチ・マリンスポーツフェスティバル in ATASHIKA」公式ホームページより

【図表 67】ビーチバレー



出典：CAMPFIRE「KAMA-N ビーチフェス 2020」より

5. 海のナイトタイムエコノミーの推進

(1) 瀬戸内海の夜景クルーズ

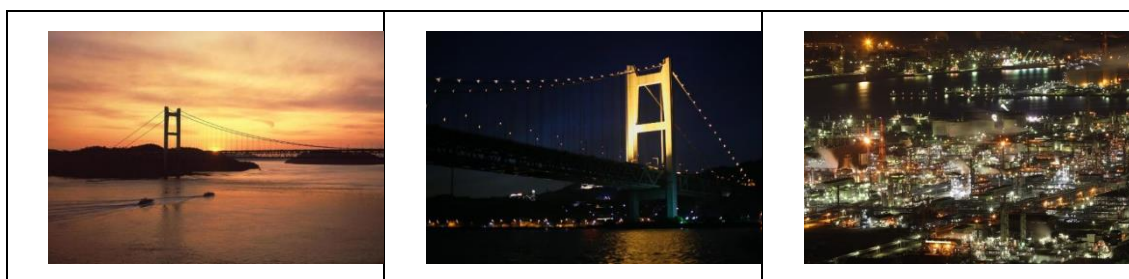
瀬戸大橋観光船協会が運営する瀬戸大橋周遊観光船（児島観光港～与島の手前まで）は、瀬戸内海の大小の島々を眺めながら、瀬戸大橋を間近で見るクルーズ船である。

その中でも、「瀬戸内海の夕日と水島コンビナート工場夜景クルーズ」は、瀬戸内海に沈む夕陽と瀬戸大橋、日本有数の工業地帯「水島コンビナート」の夜景を海上から一度に堪能できるものとなっており、瀬戸内海の魅力を満喫できる内容である。

【先進・優良ポイント】

- a) 夕陽と夜景をセットにした非日常的な風景を楽しめるクルーズを提供している。
- b) 夜景 100 選の「水島コンビナート」の工場夜景を堪能できる。

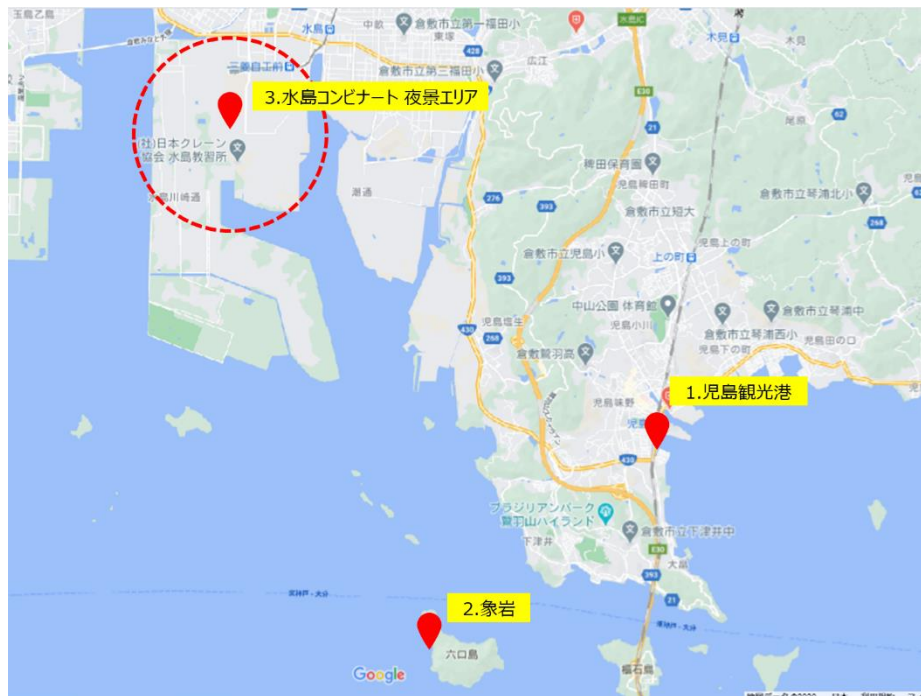
【図表 68】夜景クルーズのイメージ図



出典：公益社団法人岡山県観光連盟「岡山観光 WEB」より

航行ルート：1.児島観光港～（2.象岩）～3.水島工業地帯～児島観光港（所要時間 約 90 分）

【図表 69】夜景クルーズのイメージ図



出典：「岡山観光 WEB」よりパナ作成

V. 今後の調査について

淡路島における海事関係コンテンツを活用した新たな観光コンテンツの造成に向けた課題整理、検討を行うため、関係者等に対し、課題やアイデア等を情報収集するとともに、新たな観光コンテンツを活用した旅行商品化のための方向性を探る。

(1) 関係者に対する海事観光コンテンツ素案作成のためのヒアリングを実施する。

① 交通事業者（1社）

- ・利用者増加のための取り組み
- ・観光客を誘客する際の課題
- ・観光客等から寄せられる要望
- ・受入環境整備への対応
- ・行政、DMO、旅行代理店等への要望

② 旅客船事業者（3社）

- ・利用者増加のための取り組み
- ・新たな事業展開について
- ・観光客等から寄せられる要望
- ・受入環境整備への対応
- ・行政、DMO、旅行代理店等への要望

③ 観光協会（2機関）

- ・造成を予定している観光コンテンツの有無
- ・観光コンテンツ造成に関する課題

④ 旅行業者（3社）

- ・人気のあるツアー及び造成の予定のあるツアー
- ・注目する観光コンテンツ
- ・海事観光の可能性
- ・ツアー造成に関しての課題

⑤ 関係自治体（４機関）

- ・観光振興のための取り組み
- ・造成を検討している観光コンテンツ
- ・海事観光の可能性
- ・受入環境整備への対応

⑥ 主要観光施設、ホテル等を利用する観光客

- ・淡路島を選択した理由
- ・情報の入手方法
- ・淡路島を選択して良かった点及び悪かった点
- ・海事関係コンテンツに対する要望及び利用の意向

（２）関係者から得られた情報をもとに仮想コンテンツを作成のうえ、観光客にヒアリングを実施する。

VI. 淡路島の観光に関する関係団体等へのヒアリング

1. ヒアリングの実施概要

淡路島における新たな海事観光コンテンツの造成に向けた検討を進めるにあたって、関係団体等の取り組みの現状や今後の事業展開等を把握するため、ヒアリングを実施した。

(1) 旅行業者

実施日程	令和2年11月17日・18日
ヒアリング対象	(1) 株式会社近畿日本ツーリスト関西 (2) 株式会社リクルートライフスタイル (3) 株式会社JTB
ヒアリング概要	Q1. 人気のあるツアー及び造成の予定のあるツアー Q2. 注目する観光コンテンツ Q3. 海事観光の可能性 Q4. ツアー造成に関しての課題 Q5. 旅行業者の考えるターゲットやニーズ Q6. 効果的なPR方法 Q7. 万博/IR/花博へ向けた取り組み

(2) DMO

実施日程	令和2年11月24日・30日
ヒアリング対象	(1) 一般社団法人 淡路島観光協会 (2) 公益社団法人 ひょうご観光本部
ヒアリング概要	Q1. 造成予定のある観光コンテンツ Q2. 注目する観光コンテンツ Q3. 海事コンテンツに関するアイデア Q4. ツアー造成に関しての課題 Q5. 受入環境の課題と現状 Q6. 効果的な情報発信 Q7. 万博/IRへ向けた取り組み

(3) 旅客船事業者

実施日程	令和2年12月2日・3日・7日
ヒアリング対象	(1) ジョイポート南淡路株式会社 (2) 株式会社淡路ジェノバライン (3) 沼島汽船株式会社
ヒアリング概要	Q1. 利用者(観光客)増加のための取り組み Q2. 新たな事業展開について Q3. 海事観光の推進 Q4. 観光客等から寄せられる要望 Q5. 受入環境整備への対応 Q6. 万博/IR/花博へ向けた取り組み

(4) バス事業者

実施日程	令和2年11月25日
ヒアリング対象	(1) 淡路交通株式会社
ヒアリング概要	Q1. 利用者(観光客)増加のための取り組み Q2. 観光客を誘客する際の課題 Q3. 受入環境整備への対応 Q4. 行政、DMO、旅行代理店への要望 Q5. 万博/IR/花博へ向けた取り組み

(5) 宿泊事業者

実施日程	令和2年11月30日
ヒアリング対象	(1) 株式会社ホテルニューアワジ
ヒアリング概要	Q1. 主要な利用客・ターゲット Q2. 利用者(観光客)増加のための取り組み Q3. コロナ禍における利用状況 Q4. 海事観光のアイデア Q5. 受入環境の現状・課題 Q6. 万博/IR/花博へ向けた取り組み

(6) 施設管理者

実施日程	令和2年11月30日
ヒアリング対象	(1) 株式会社夢舞台
ヒアリング概要	Q1. 人気のあるツアー Q2. コンテンツ造成に関するアイデア Q3. あわじ交流の翼港の活用について Q4. 受入環境整備への対応 Q5. 万博/IRへ向けた取り組み

(7) 自治体

実施日程	令和2年11月25日・12月3日
ヒアリング対象	(1) 淡路県民局交流渦潮室 (2) 淡路市産業振興部商工観光課 (3) 洲本市産業振興部商工観光課 (4) 南あわじ市産業建設部商工観光課
ヒアリング概要	Q1. 観光振興における方向性 Q2. 注目する観光コンテンツ Q3. 海事観光の可能性 Q4. 海事コンテンツに関するアイデア Q5. 目指したいターゲット層 Q6. 2次交通の現状・課題 Q7. 受入環境の現状 Q8. 万博/IRへ向けた取り組み

VII. 課題整理

前章の関係団体へのヒアリングを踏まえ、以下のとおり課題を整理した。

1. コンテンツ造成に係る課題

(1) コンテンツ造成に関する主な意見

コンテンツ造成に関する主な意見は、下記のとおりである。

- 京阪神からの観光客が大半で、それ以外の地域からの観光客が少ない
- 淡路島には温泉、食事、歴史等様々な観光素材があるが、目玉となるコンテンツ（キラーコンテンツ）が無い
- 淡路島独自のコンテンツや体験ものが無い
- エッジが効いていないコンテンツが多い
- 目的（テーマ）がはっきりとしたツアー（食・花・渦潮）を造成する必要がある
- 淡路島にしかない「自然」や「食」をテーマにしたコンテンツを造成する必要がある
- 既存の観光コンテンツに新たな要素を加えて魅力を創り出すようなコンテンツを造成する必要がある
- 重要文化財や歴史、神話を掛け合わせたストーリー性のあるコンテンツを造成する必要があるのではないか
- コロナ禍ではマイクロツーリズムが人気のため、関西圏の観光客をさらに取り込む必要があるのではないか
- 「ワーケーション」や「ロングステイ」に対応した滞在型観光を促進する必要があるのではないか
- 「インバウンドのロングステイ」を推進するため、アジア以外に欧米豪をターゲットにする必要がある
- インバウンドを狙うなら、国別の嗜好に合わせた内容を考える必要がある
- 各事業者や行政が個々に取り組んでおり、淡路島全体で連携した誘客が必要である

(2) 見えてきた課題

上記の意見からコンテンツを造成する上で見えてきた課題を整理した。

- ・淡路島には目玉となるコンテンツ（キラーコンテンツ）が無い
- ・通年で集客できるコンテンツ・施設が少ない
- ・滞在型コンテンツや参加・体験型コンテンツが少ない
- ・京阪神からの観光客が大半で、それ以外の地域からの観光客が少ない
- ・淡路島を回遊する仕掛け（コンテンツ）が無い
- ・コンテンツやツアー造成は、特定の事業者や行政が個々に行っており、淡路島全体での連携した取り組みが行われていない

(3) 課題解決に向けた取り組み

淡路島には集客力の高い観光スポット（キラコンテンツ）は少ないが、若者から高齢者までのどの年代層にも対応できる様々なコンテンツが存在している。

今後、淡路島により多くの観光客を呼び込むためには、淡路島の観光資源の強みである「食」、「歴史」、「自然」等の資源を組み合わせ、観光客の満足度向上に取り組む等、ストーリー性のあるコンテンツを造成するとともに、地域の魅力を高める取り組みが必要である。

また、コロナ禍において「ワーケーション」や「マイクロツーリズム」が注目される中、自然豊かで密を避けられる観光地という地の利を活かした滞在型コンテンツを造成することも、重要な取り組みである。

さらに、インバウンドの取り込みの視点では、欧米人には歴史が、台湾・香港人には鳴門の渦潮などが人気であるが、国別の嗜好の違いがあるので、それぞれの嗜好に応じたコンテンツやツアーの造成を考える必要がある。

なお、コンテンツやツアー造成を行う場合には、事業者や行政が個々に取り組むのではなく、地域が一体となって連携して取り組む仕組みが必要である。

2. 海事観光に係る課題

(1) 海事観光に関する主な意見

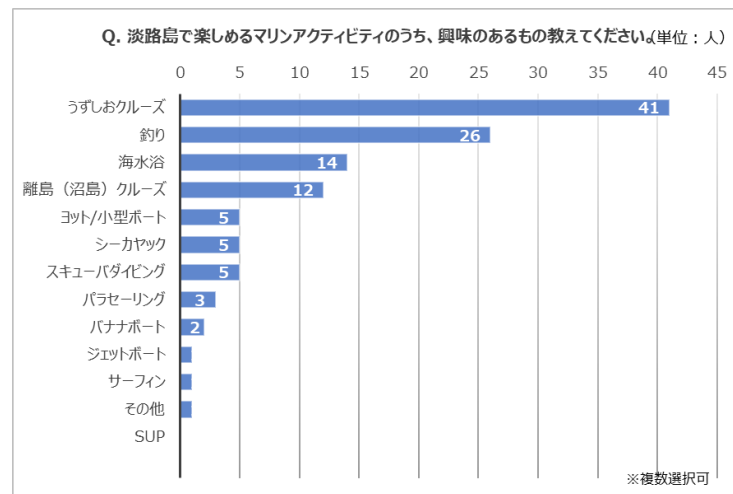
海事観光に関する主な意見は、下記のとおりである。

- クルーズは天候の影響を強く受ける
- 明石海峡という独自性のあるコンテンツを活かし、橋の下をくぐれるようなクルーズがあれば良いのではないか
- 鳴門のうずしおクルーズは知名度はあるが、場所が京阪神から遠いので、淡路島北部にも「クルーズ」があれば良いのではないか
- 利用者を増やすためには、乗船することで楽しめるキラコンテンツを造成する必要がある
- 沼島は欠航した場合の代替観光地が周辺に無い
- 海事コンテンツ単体だけでは集客が難しいため、他のコンテンツとの組み合わせが必要である
- 不定期航路事業では年間3回までしか運航できない
- 定期航路を開設する場合、イベント時にチャーター船を走らせ、実績を作っていくことが重要
- 関空～淡路航路は過去の経験から難しいと思われるのではないか
- マリンアクティビティを楽しむために、淡路島に行きたいという人はあまりいない

なお、海事観光に関しては関係団体等からのヒアリングに加え、実際に淡路島を訪れた旅行者 80 人に対し、関心のあるマリナクティビティについてアンケート調査を実施した。

実施日程	令和 2 年 11 月 23 日																																																																
調査対象	道の駅の旅行者：80サンプル うち、道の駅あわじの旅行者26サンプル、道の駅福良の旅行者54サンプル 【居住地別の内訳】 (単位：人、%) <table><tr><th></th><th>合計</th><th>構成比</th></tr><tr><td>兵庫</td><td>29</td><td>36.3</td></tr><tr><td>大阪</td><td>25</td><td>31.3</td></tr><tr><td>愛知</td><td>7</td><td>8.8</td></tr><tr><td>東京</td><td>4</td><td>5.0</td></tr><tr><td>埼玉</td><td>3</td><td>3.8</td></tr><tr><td>京都</td><td>3</td><td>3.8</td></tr><tr><td>岐阜</td><td>2</td><td>2.5</td></tr><tr><td>奈良</td><td>1</td><td>1.3</td></tr><tr><td>神奈川</td><td>1</td><td>1.3</td></tr><tr><td>滋賀</td><td>1</td><td>1.3</td></tr><tr><td>愛媛</td><td>1</td><td>1.3</td></tr><tr><td>徳島</td><td>1</td><td>1.3</td></tr><tr><td>富山</td><td>1</td><td>1.3</td></tr><tr><td>不明</td><td>1</td><td>1.3</td></tr><tr><td>合計</td><td>80</td><td>100.0</td></tr></table> 【年齢構成】 Q. 年齢 ■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上 <table><tr><th>年齢</th><th>割合</th></tr><tr><td>10代</td><td>0%</td></tr><tr><td>20代</td><td>19%</td></tr><tr><td>30代</td><td>9%</td></tr><tr><td>40代</td><td>36%</td></tr><tr><td>50代</td><td>14%</td></tr><tr><td>60代</td><td>15%</td></tr><tr><td>70代以上</td><td>7%</td></tr></table>		合計	構成比	兵庫	29	36.3	大阪	25	31.3	愛知	7	8.8	東京	4	5.0	埼玉	3	3.8	京都	3	3.8	岐阜	2	2.5	奈良	1	1.3	神奈川	1	1.3	滋賀	1	1.3	愛媛	1	1.3	徳島	1	1.3	富山	1	1.3	不明	1	1.3	合計	80	100.0	年齢	割合	10代	0%	20代	19%	30代	9%	40代	36%	50代	14%	60代	15%	70代以上	7%
	合計	構成比																																																															
兵庫	29	36.3																																																															
大阪	25	31.3																																																															
愛知	7	8.8																																																															
東京	4	5.0																																																															
埼玉	3	3.8																																																															
京都	3	3.8																																																															
岐阜	2	2.5																																																															
奈良	1	1.3																																																															
神奈川	1	1.3																																																															
滋賀	1	1.3																																																															
愛媛	1	1.3																																																															
徳島	1	1.3																																																															
富山	1	1.3																																																															
不明	1	1.3																																																															
合計	80	100.0																																																															
年齢	割合																																																																
10代	0%																																																																
20代	19%																																																																
30代	9%																																																																
40代	36%																																																																
50代	14%																																																																
60代	15%																																																																
70代以上	7%																																																																

【図表70】淡路島で楽しめるマリナクティビティへの関心



- 「うずしおクルーズ」、「離島（沼島）クルーズ」は人気がある
- 「釣り」、「海水浴」を目的として淡路島に来る旅行者は多い
- その他、「オフシーズンを含め年間を通して楽しめるマリナクティビティが少ない」、「親子で楽しめるコンテンツがあったらいい」という意見があった

（２）見えてきた課題

上記のことから見えてきた海事観光を推進する上での課題を項目ごとに整理した。

① 海事観光の特性について

- ・海事観光は天候の影響や季節的な制限を受けやすい
- ・海事コンテンツは単体では集客力が弱い

② 旅客船の活用について

- ・不定期航路事業の場合、法令の制約により運航期間が限定される
- ・施設使用料が高い
- ・ランチクルーズやディナークルーズが可能な船の確保が難しい

③ クルーズについて

- ・淡路島北部エリア（明石海峡付近）を発着するクルーズの航路が無い
- ・島内の港が有効に活用されていない

④ マリンアクティビティについて

- ・淡路島に海水浴以外のマリンアクティビティを目的に訪れる観光客は少ない
- ・オフシーズンに楽しめるコンテンツが無い
- ・クルーザーや小型ヨット等が停泊できる施設が少ない

(3) 課題解決に向けた取り組み

クルーズやマリンアクティビティなどの海事観光は市場規模が小さいため、集客力を高めるためには他の既存コンテンツと融合した企画の造成が必要である。

例えば、明石海峡大橋や大鳴門橋を組み合わせた「橋とクルーズ」というテーマでのツアー造成や、淡路島の「国生み神話」関連スポットを巡る「歴史とクルーズ」の様なツアー造成は、海事観光コンテンツのみでは取り込めない層の集客を図る上で有効であると考えられる。

また、旅客船の活用に関しては、法令の制約等により運航期間が限定されるといったハードルはあるが、弾力的な制度を活用し、新たな航路事業の拡大を図る取り組みが必要である。

マリンアクティビティに関しては、淡路島に海水浴以外を目的に訪れる観光客は少ないという課題を克服するためには、年間を通して楽しめるコンテンツを造成する他、親子で楽しめるイベントの企画など、淡路島ならではの魅力あるマリンアクティビティを活用した企画造成に積極的に取り組む必要がある。

また、富裕層を取り込むためにはクルーザー等が停泊できる係留施設の整備等も重要である。

3. 受入環境の整備に係る課題

(1) 受入環境の整備に関する主な意見

受入環境の整備に関する主な意見は、下記のとおりである。

2 次交通	■ 路線バスやコミュニティバスは、観光客より生活利用者を優先せざるを得ないため、観光路線へのシフトは難しい ■ 島内はマイカー利用者が多く、路線バスの利用者が少ない ■ 観光客のバス利用の時間帯(昼)と島民のバス利用の時間帯(朝夕)にタイムラグがある ■ 島内に目玉となる観光スポットがなく、観光地も分散しているため、移動に時間がかかり観光需要が見込める路線が作りにくい ■ 観光客の 8、9 割がマイカーであるので、コストをかけて 2 次交通をどこまで整備するのか考える必要がある ■ 島外でレンタカーを借りて淡路島へ来る観光客が多く、島内でのレンタカー需要は少ない ■ 高速バスインターチェンジのバス停と観光地をどうつなげるのか、考える必要がある
-------	---

	■ 観光型 MaaS の活用を検討することが必要ではないか（バス、タクシー、レンタサイクル等多様な交通手段の連携） ■ 2 次交通としてレンタサイクルの利用も考えられるのではないか ■ インフラ整備に関しては、行政と民間が連携して取り組む必要があるのではないか
多言語化・Wi-Fi・キャッシュレス化	■ 淡路島はインバウンドが少ないので多言語化、Wi-Fi、キャッシュレス化が遅れていることがそれほど課題となっていない ■ 旅客船事業者は、多言語化、Wi-Fi 整備が未実施 ■ 高速バスは、多言語化、キャッシュレス化が実施済であるが、路線バスは未実施 ■ パンフレット等の多言語化は、まだまだこれからの状況 ■ 主要施設や宿泊施設等個々の施設で整備はされているが、島内で使用できる Wi-Fi 整備が必要ではないか ■ キャッシュレス化の導入コストが高い、導入のための事務処理が煩雑 ■ コロナ禍でキャッシュレス化の推進が必要

（２）見えてきた課題と課題解決に向けた取り組み

島内の 2 次交通に関しては、路線バスやコミュニティバスの活用が期待されているが、それらはいずれも公共交通機関であるため、生活路線としての役割が優先される。

また、島内はマイカー利用者が多く、バス利用者が少ない上、コロナ禍の状況でさらに利用者が減っているため、バス路線や便数を維持するのも厳しい状況である。

このような状況の中、一部のコミュニティバス路線では、観光客利用を踏まえた路線編成が行われているが、さらなる路線拡大は生活路線としての性質上、難しい状況である。

このため、バス以外の交通手段も含めた観光型 MaaS の活用等の新たな 2 次交通の充実に向けた検討が必要と思われる。

多言語化・Wi-Fi・キャッシュレス化に関しては、主要施設やホテル等個々の施設で整備が進んでいるものの、島内全体での整備は遅れている状況であるため、今後、インバウンドの取り込みに向け早期の整備を図る必要がある。

4. 情報発信に係る課題

(1) 情報発信に関する主な意見

情報発信に関する主な意見は、下記のとおりである。

- アジア系インバウンドは SNS を活用して情報収集していることから、集客には SNS が効果的
- Instagram や旅行アプリを活用する集客は若年層に対して非常に効果的
- Instagram やグーグルビジネスに書き込んで貰えるようなサービスを提供する必要があるのではないか
- 新しいコンテンツ造成のモニターツアーを行う場合、モニターとインフルエンサーの 2 本立てで考える必要がある
- 季節に即したタイミングの良い情報発信が必要
- 世代、目的に合わせた効果的な情報発信方法を選択する必要がある
- テレビや雑誌を活用する集客は高齢層に対して非常に効果的

(2) 見えてきた課題と課題解決に向けた取り組み

観光情報の発信ツールとしてはテレビや雑誌、新聞に加え近年では SNS の活用が主流となっている。特に若年層には Instagram や旅行アプリは集客ツールとして非常に効果が高いとされているため、今後は SNS を活用した情報発信に注力して取り組む必要がある。

なお、情報発信にあたっては、地域の特色やその地域に訪れる観光客のニーズに対応した情報を効果的に発信するための工夫が必要である。

5. 万博関係に係る課題

(1) 万博関係に関する主な意見

万博関係に関する主な意見は、下記のとおりである。

- 淡路島で非公式サテライト会場を設置する動きがある。この場合、海上・陸上の両方からアクセスできるような仕組みが必要
- 航路を開設する場合、万博会場の岸壁の整備が必要ではないか
- 航路を開設する場合、淡路島の各港が連携していくことが必要ではないか
- 万博航路を開設する場合、一時的な航路とならないようにする必要がある
- 淡路側の港からの 2 次交通（アクセス）が課題ではないか
- 首都圏をターゲットにする場合、徳島空港等、四国側からのルートが必要ではないか
- 大阪、京都とは違う淡路島の魅力を PR して商品に組み込む必要があるのではないかと
- インバウンド対策と PR の強化が必要
- 万博に向けて、インバウンドの国別の興味・関心の分析や、電子チケットに対応できるようなデジタル化に力を入れることが必要
- 万博・IR に対する期待は高いが、誘客に向けた具体的な話が進んでいない

（２）まとめ

万博開催に関しては多くの関係者が観光需要や経済効果などに対する期待はあるものの、現時点においては具体的な取り組みは行われていないことが分かった。しかし、淡路島への誘客のための海上交通ルート開設の必要性や多言語化、キャッシュレス化、Wi-Fi 整備等の受入環境整備の重要性については多くの関係者が認識していることも分かった。

万博に関しては、関係者が幅広く情報を収集・共有するとともに、連携して取り組む体制を早期に構築することが重要である。

VIII. コンテンツの整理

1. SWOT 分析

これまでの調査結果をもとに、淡路島の新たな海事観光コンテンツ造成検討に向けた「内部環境（強みと弱み）」と「外部環境（機会と脅威）」について整理した。

主な強みとしては、「淡路島ならではの豊かな食文化」、「国生み歴史」、「世界的に有名な橋の存在」、「安藤忠雄建築」、「洲本温泉」等の豊富なコンテンツや「関西都市部からのアクセスの良さ」、「サイクリング・ツーリングに適した環境や施設」などが挙げられる。

一方で弱みとしては、「2 次交通アクセスの脆弱性」、「受入環境の整備不足（多言語化、Wi-Fi、キャッシュレス化など）」、「夜型観光に適したスポットの少なさ」、「海外、首都圏における認知度の低さ」が挙げられる。

機会としては、2025 年に控える「万博開催」、「インバウンドの増加」、「旅行ニーズの多様化」、「個人旅行の増加」、「コロナウイルスの感染拡大に伴う旅行トレンドの変化・テレワークの増加・生活習慣の変化」が挙げられる。

脅威としては、「周辺観光地との競争激化、コンテンツの類似」や「コロナウイルスの感染拡大に伴う団体旅行の減少」、「少子高齢化・若者の流出に伴う島内人口の減少」が挙げられる。

	好影響	悪影響
内部環境	強み(Strengths) ● 淡路島ならではの豊かな食文化（3年とらふぐ、鰯、淡路牛、玉ねぎ、琵琶） ● 国生み歴史（神社、寺、重要文化財、神話） ● 美しい自然、神秘的な現象、美しい景観（花さじき、月の道、鳴門の渦潮、夕日、星空） ● 世界的に有名な橋の存在（明石海峡大橋、鳴門大橋） ● 安藤忠雄建築 ● 洲本温泉 ● インスタ映えスポットの増加 ● 大人数が収容可能な国際会議場 ● 関西都市部からのアクセスの良さ ● 関空から距離が近い ● サイクリング・ツーリングに適した環境や施設 ● 海に囲まれた地形	弱み(Weaknesses) ● 2次交通アクセスの脆弱性 ● インバウンドの受入環境の整備不足（多言語、Wi-Fi、キャッシュレス化など） ● 海外、首都圏における認知度の低さ ● 滞在型旅行者の少なさ ● 夜型観光（ナイトタイムエコノミー）に適したスポットの少なさ ● 冬の観光コンテンツの乏しさ ● キラーコンテンツがない ● マリンアクティビティの不足 ● 淡路島内の各港の活用が進んでいない。
外部環境	機会(Opportunity) ● 万博開催・IR誘致 ● インバウンドの増加 ● 旅行ニーズの多様化 ● 個人旅行の増加 ● 周辺地域の人気のある観光地の存在 ● コロナウイルスの感染拡大 ↳ 旅行トレンドの変化(スモールパッケージ、自然豊かな観光地が人気) ↳ テレワークの増加 ↳ 島内移住者の増加 ↳ 生活習慣の変化	脅威(Threat) ● 周辺観光地との競争激化、コンテンツの類似 ● コロナウイルスの感染拡大 ↳ 団体旅行の減少 ● 少子高齢化・若者の流出 ↳ 島内人口の減少 ↳ 労働力の不足

2. コンテンツの整理

具体的なコンテンツを提案するには、ターゲット毎のニーズにあった企画を検討する必要がある。

また、宿泊型観光と日帰り型観光では旅行計画や行動に特徴的な違いが表れる。そうした視点にも着目しながら検討を進める必要がある。

そのため、①ターゲット層の視点②観光行動の視点の2つの視点に基づきコンテンツ造成の方向性を整理した。

(1) ターゲット層の視点

ターゲットについては、「ファミリー、若者・カップル、インバウンド、富裕層、ワーケーション・長期滞在者」の5つに分類した。

ファミリー、若者・カップルについては、すでに淡路島に多く来訪しているが、今後もさらに増加を図っていきたい層である。

インバウンドについては、新型コロナウイルス流行以前は少なかったものの、2025年の万博開催を見据えると、今後、増加が見込まれる層である。

富裕層については、鰯や3年とらふぐ等の高級食材を食したり、高級宿泊施設に宿泊したりする層であり、消費拡大に寄与することから、今後、積極的に取り込むための対策が欠かせない。

ワーケーション・長期滞在者については、コロナウイルスの感染拡大に伴うテレワークの普及により生まれた、「場所にとらわれず感染の恐れが小さい地方で仕事・生活をする」といったトレンドがもたらした新たな市場として有望であると考えられる。

ターゲット毎のニーズについては、旅行者のヒアリング等から下記のとおり整理した。

ターゲット	ニーズ
ファミリー	■ 子供から大人まで幅広い世代が楽しめるコンテンツ ■ 食、体験、学習をテーマにしたコンテンツ
若者・カップル	■ コト消費・体験型コンテンツ ■ フォトジェニック・インスタ映えする景色・モチーフ
インバウンド	■ 日本の食、歴史、アニメ
富裕層	■ 高い価格であっても自分の好みにアレンジできるコンテンツ
ワーケーション 長期滞在者	■ 仕事の疲れをリフレッシュできるコンテンツ ■ 仕事をしない同行者が楽しめるコンテンツ ■ 自然豊かな場所でのんびりすることができるコンテンツ

（２）観光行動の視点

日帰り型の場合は滞在時間が限られることから、観光対象が単一に設定される傾向にあるが、宿泊型の場合は時間的に余裕があることから、複数の観光対象を設定する傾向にある。

従って、日帰り型の場合は、一つの観光対象で高い満足感を与えられる企画が必要となる。

例えばクルーズの企画においては、クルーズのみを単体で設定するのではなく、食事や体験といった複数のメニューを効果的に組み合わせることで、魅力ある企画として旅行者の満足度を高め、クルーズそのものの印象を深めることに繋がると考えられる。

一方、宿泊型の場合は、ナイトタイムコンテンツを含む複数のコンテンツを盛り込んだ企画が有効と考えられる。

ナイトタイムコンテンツの活用は、国内消費はもちろん、インバウンド消費の増加にもつながる他、淡路島における旅行の満足度を高める効果が期待できる。

なお、複数のコンテンツを組み合わせる場合、これらを印象深くつなぐ工夫が必要であるが、前記したターゲット毎の嗜好に応じた企画を提供することで、新たな旅行者の獲得に繋がると考えられる。

IX. 具体的な取り組みの提案

1. 新たな海事観光コンテンツ案

これまでの検討・分析を踏まえ、「旅客船を活用した新たなクルーズ企画」、「既存のコンテンツと融合したクルーズ企画」、「マリンアクティビティを活用した企画」の3つに分類した上で、コンテンツ案をとりまとめた。

(1) 旅客船を活用した新たなクルーズ企画

クルーズについては、ターゲットや行動（日帰り・宿泊）によってニーズに違いが表れるため、ターゲット及び行動で分類を行った上で、それぞれのニーズに応じた企画を検討した。

	ターゲット	狙い	コンテンツ案
日帰	ファミリー	手軽に楽しめるクルーズ	大阪湾ランチクルーズ 淡路島一周クルーズ 沼島、友ヶ島クルーズ 明石海峡クルーズ
	若者 カップル	体験をイメージしたクルーズ	明石海峡クルーズと主塔見学
		サイクリングと組み合わせたクルーズ	サイクリングと小型船を活用した ショートクルーズ
宿泊	ファミリー	贅沢なクルーズ	大阪湾ナイトクルーズ
	若者 カップル	絶景、フォトジェニックが魅力のクルーズ	明石海峡ナイトクルーズ 明石海峡サンセットクルーズ
ワーケーション 長期滞在者		ゆったり癒しのクルーズ	大阪湾ジャズナイトクルーズ 沼島散策と漁業体験クルーズ
富裕層		多様なニーズに合わせたクルーズ	中型クルーザーを活用した チャータークルーズ

①ファミリー層向けの企画

ファミリー層の中のアクティブシニア向けの日帰り企画として、大阪湾を周遊するランチクルーズや淡路島の港に立ち寄りながら島を一周する淡路島一周クルーズ、沼島や友ヶ島沖を周遊するクルーズなどが考えられる。

また、宿泊者向けの企画として、夜の大阪湾を周遊するナイトクルーズなどが考えられる。

このナイトクルーズでは、幻想的な月の道の観賞や船上でのミュージシャンによる演奏をコンテンツとして組み込むことで、新たなクルーズ需要の創出が期待できる。

なお、大阪湾周遊クルーズについては、洲本港を活用することを想定しているが、その場合、洲本市内観光とのパッケージングや宿泊ツアーのオプションとしての利用が期待される他、洲本港界隈の賑わい創出にも繋がると期待できる。

【図表 71】大阪湾クルーズのイメージ



出典：「神戸船の旅 CONCERTO」ホームページより

また、淡路島一周クルーズについては、明石港から出発し、島内3港（津名港・洲本港・福良港）に立ち寄りながら各エリアの観光施設を訪問するといった内容のツアーが既に事業化されているが、沼島や友ヶ島、西海岸の港といった新たな寄港地の開拓や、「七福神・パワースポット巡り」、「国生みの歴史学習」等、テーマに沿った個々のクルーズ企画を行うことで、より集客力の高いコンテンツに昇華させることが期待できる。

一方、若い親世代向けの企画として、淡路島北部のアミューズメント施設と連携した明石海峡クルーズなどが考えられる。

近年、子供と楽しめる遊び場として多くの子連れ観光客に人気のある淡路島北部のアミューズメント施設で楽しんだ後、体験型のクルーズを提供するという企画である。

乗船中、子供が船員の制服を身に付け、ロープワークや警戒監視など、船員の仕事を体験する企画を行うことで、船・海への関心を高めることが期待できる。

【図表 72】淡路島一周クルーズの寄港地（2015 年）と実際の様子（2014 年）



出典：「神戸新聞 NEXT」より

②若者・カップル向けの企画

若者・カップル向けの日帰り企画として、明石海峡大橋の主塔見学やサイクリングなど、体験型観光と組み合わせたクルーズが考えられる。

このうち、サイクリングとの企画では自転車を小型船に積み込み、サイクリング行程の一部を船で移動するものであり、サイクリング愛好者の利用も期待できる。

また、宿泊者向けの企画として、夜の明石海峡クルーズや夕暮れ時のサンセットクルーズなどが考えられる。明石海峡大橋のイルミネーションや播磨灘の夕日は近年、若者に人気を博しており、これらをコンテンツに組み入れることで、フォトジェニックな景色への関心が高い若者を取り込む企画として有効であると考えられる。

【図表 73】ライトアップされた明石海峡大橋



出典：「アワタビ」ホームページより

③ワーケーション・長期滞在者向けの企画

休暇を兼ねて旅先で仕事をする「ワーケーション」や長期滞在型の旅行者向けには、ゆったり癒しをテーマにジャズを聴きながら楽しむ大阪湾ジャズナイトクルーズや、地域とのふれあいをテーマとした沼島の散策と漁業体験を組み合わせた沼島エリアでのクルーズなどが考えられる。

大阪湾ジャズナイトクルーズは、ワーケーション滞在地として人気の高い南あわじ市の福良港や洲本港などの利用が想定される。

船内ではドリンクや軽食を提供し、プロのミュージシャンによる生演奏を行い、リフレッシュできる環境を整える。なお、演奏ジャンルは定期的に変更し、淡路島滞在中に何度も利用したくなるような仕掛けが必要だと考えられる。

【図表 74】大阪湾ジャズナイトクルーズのイメージ



出典：「旅行新聞」より

④富裕層向けの企画

要求水準の高い富裕層向けの企画として、中型クルーザーを活用したチャータークルーズが考えられる。内容については、それぞれの旅行者の嗜好に沿った特別感のあるものにする必要があるが、前記した大阪湾での月の道鑑賞クルーズなどは富裕層向けの企画として期待できると考えられる。

また、体験に重点を置く旅行者向けには、淡路島ならではの漁業体験（ハモ漁やノリ養殖）を組み合わせたクルーズなどの企画も期待できる。

【図表 75】チャータークルーズのイメージ



出典：「iCruise」ホームページより



出典：「iCruise」ホームページより

（２）既存のコンテンツと融合したクルーズ企画

既存の淡路島観光における主要コンテンツと融合した新たなクルーズ企画をターゲット毎に検討した。

コンセプト	ターゲット	コンテンツ案
淡路島の現代と神話を巡るクルーズ	個人	安藤忠雄建築の見学と国生み神話ゆかりの地を巡る沼島クルーズ アニメから紐解く明石海峡魅力発見クルーズ
淡路島の食とクルーズ	個人	洲本市内散策と大阪湾クルーズ 淡路島のご当地グルメと明石海峡クルーズ
淡路島の自然とクルーズ	団体 個人	鳴門観潮と西淡路サンセットクルーズ 海ホテルを眺めるナイトクルーズ

①淡路島の現代と神話を巡るクルーズ

淡路島の現代と神話を巡るクルーズは、淡路島の歴史と現代文化を融合させた企画である。

淡路島の現代文化の象徴である、日本を代表する建築家「安藤忠雄」氏の手掛けた建築物の見学と、国生み神話のゆかりの地である沼島を巡るクルーズ企画は、歴史ファン以外の旅行者の獲得にも繋がる他、新たな淡路島の魅力を発信できる企画として期待できる。

【図表 76】国生み神話ゆかりの地を巡る離島クルーズのイメージ



出典：「淡路島観光ガイド・あわじナビ」より



出典：「神社専門メディア奥宮」ホームページより

また、アニメから紐解く明石海峡魅力発見クルーズは、アニメ好きのインバウンド旅行者をターゲットに、神戸・明石・淡路島のアニメの聖地を巡るクルーズである。

明石港を出航し、アジアを中心に人気のある「Fate」や「競女!!!!!!!」等の神戸・明石・淡路島を舞台としたアニメについてガイドを聞きながら聖地を巡っていく企画であり、新たな旅行者の獲得が期待できる。

【図表 77】【アニメから紐解く明石海峡魅力発見クルーズのイメージ】



出典：【公式】劇場版「Fate/stay night HF」
Journey to KOBE（神戸コラボ）公式 Twitter より

②淡路島の食とクルーズ

淡路島の食とクルーズに関しては、近年、「食材の宝庫」として人気を博す淡路島の食とクルーズとを融合させた企画である。

洲本市内散策と大阪湾クルーズは、近年、淡路島の隠れたグルメスポットとして知られるようになった洲本市内で食事と散策を楽しんだあと、洲本港から船に乗り、ティークルーズとして洲本沖を遊覧する企画である。

また、淡路島のご当地グルメと明石海峡クルーズは、岩屋にある海鮮料理をメインとした飲食店や、生しらす丼や淡路バーガーといった淡路島の B 級グルメを集めたフードコートなどを巡る企画と明石海峡クルーズとを組み合わせた企画である。

これらはいずれも、近年、ガイドブックやテレビなどメディアへの露出増加により注目度も上昇しており、若者や食に関心の深い客層などの集客が期待できる。

【図表 78】洲本市内散策と大阪湾周遊のイメージ



出典：「淡路島観光ガイド・あわじナビ」より



出典：「Sea To C プロジェクト」ホームページより

③淡路島の自然とクルーズ

淡路島の自然とクルーズについては、鳴門観潮と西淡路サンセットクルーズや海ホテルを眺めるナイトクルーズなどの企画が考えられる。

このうち鳴門観潮と西淡路サンセットクルーズについては、日の入り前に福良港を出航し、渦潮を観潮したのち西淡路エリアに向かい水平線に沈む夕日をベストポジションから望む企画である。

迫力のある渦潮を観潮したあと、穏やかな海に沈む夕日を海上から眺める、淡路島の海の魅力を堪能できるクルーズ企画であり、新たなクルーズ需要の創出が期待できる。

【図表 79】鳴門観潮と西淡サンセットクルーズのイメージ



出典：「兵庫県」ホームページより



出典：「兵庫県」ホームページより

また海ホテルを眺めるナイトクルーズについては、これまで陸上から鑑賞されていたものを、海上から眺めて楽しむクルーズ企画である。

これまで淡路島における海ホテルの鑑賞は、島内の宿泊者をターゲットに、南あわじ市の阿万海岸や慶野松原海岸で実施され、人気を博しているが、これに新しいコンテンツを融合することで更なる利用者の増加につながるとともに、淡路島におけるナイトタイムエコノミーの新たな主要コンテンツとしても期待できる。

【図表 80】海ホテルを眺めるナイトクルーズのイメージ



出典：淡路島洲本温泉海月館・公式ブログより



出典：「じゃらん net」より

(3) マリンアクティビティを活用した企画

マリンアクティビティを活用した企画については、小型レジャーボート等の活用と浜辺の活用の2つのカテゴリについてターゲット毎に検討した。

カテゴリ	ターゲット	コンテンツ案
小型レジャーボート等の活用	インバウンド	カヤックフィッシング
	ワーケーション 長期滞在者	小型船舶操縦免許・ダイビングライセンスの取得
	ファミリー	ヨットクルーズ
浜辺の活用		浜辺キャンプ・グランピング
	若者 カップル	ビーチスポーツとグランピング ビーチパブリックビューイング

① 小型レジャーボート等の活用

小型レジャーボート等を活用した企画として、インバウンド向けには体験型企画としたカヤックフィッシング、ワーケーション・長期滞在者向けには、滞在中の余裕ある時間を有効に活用できる小型船舶操縦免許・ダイビングなどの資格取得を目的とした企画などが考えられる。

この資格取得の企画については、淡路島の海に対する関心を高めるとともに、今後のマリンアクティビティの普及にも繋がると考えられる。

また、ファミリー層向けには気軽にマリンアクティビティが楽しめるヨットクルーズなどの企画が考えられる。

ファミリー層向けのヨットクルーズでは、船上でのランチやシュノーケリングなど、非日常の体験を提供するとともに、短時間のショートクルーズや日帰りのデイクルーズ、更には夜をまたぐオーバーナイトクルーズなど、ニーズに合った様々なクルーズを設定することで幅広い客層の取り込みが期待できる。

【図表 81】小型船舶操縦免許・ダイビングライセンス取得企画のイメージ



出典：「ヤマハ発動機株式会社」ホームページより



出典：「パパラギダイビングスクール」ホームページより

②浜辺の活用

淡路島には日本の渚百選、日本の海水浴場 88 選、日本の夕陽百選、快水浴場百選の特選に選ばれた慶野松原や、洲本の市街地や洲本温泉街にも近く観光客も気軽に訪れることができる大浜海岸など、人気の海浜スポットが多く存在する。

これらの浜辺を活用した企画として、ファミリー層向けには浜辺でのキャンプやグランピング、若者・カップル向けにはビーチスポーツとグランピングを組み合わせた企画やビーチパブリックビューイングなどが考えられる。

キャンプやグランピングについては、近年のアウトドアブームに加え、コロナ禍で自然や健康、密になりにくいアウトドアへの意識が高まる中、今後益々愛好者が増えるものと期待でき、淡路島における夜型観光の促進にも有効であると考えられる。

また、海に囲まれ美しい海岸を有する淡路島の特徴を活用し、淡路島全体でビーチスポーツの普及と誘客のための取り組みを進めることで、リピーターや宿泊者の増加が期待できる。

更には市民を対象としたビーチスポーツ教室などの開催により、マリンアクティビティをする環境づくりや気運の醸成も期待できる。

【図表 82】浜辺と星空テント泊のイメージ



出典：「OKINAHOURS」より

出典：「沖縄県リゾートホテル」

出典：釜口漁港 2020 年 11 月 22 日撮影

ホームページより

【図表 83】ビーチスポーツとグランピングイメージ



出典：「旅ぐるなび」より

出典：「グアム旅行ファン」より

出典：「四国新聞社」より

2. 受入環境の整備

2 次交通の整備に関しては、路線バスやコミュニティバスの活用が期待されているが、生活路線の役割が大きいため、観光目的の路線拡大は厳しい状況である。

そのため、観光施設へのアクセスは、タクシーやレンタサイクル等バス以外の交通手段も含めて活用することが有効と考えられる。また、これらの交通手段を利用してシームレスに移動するために、MaaS の活用により目的地までの回遊性の向上を図ることも有効である。

MaaS については、観光分野での活用も視野に入れて、関係者間で取り組んで行く必要がある。

一方、多言語化・Wi-Fi ・キャッシュレス化に関しては、主要施設やホテル等個々の施設で整備が進んでいるものの、島内全体での整備が充分でないことが確認できた。

これまで、淡路島にはインバウンドが少なかったことから、あまり整備が行われていなかったが、今後の万博開催等を見据え、観光客の来訪・滞在促進を図るためには、これらの受入環境整備が不可欠であるため、早期に対応していく必要がある。

また、今後、受入環境整備を進めるためには、事業者のみでは限界があることから、国や自治体の補助金等を活用し、幅広いエリアで整備が進むよう、関係者が一体となり取り組んで行く必要がある。

3. 情報発信

今後、淡路島の観光を推進するためには、淡路島の魅力を効果的に伝えるための情報発信を行うことが重要である。

現在、観光情報の発信ツールとして、SNS、テレビ、新聞、雑誌等が活用されているが、それぞれの利用者や媒体別の特性を理解する必要がある。例えば、SNS はアジア系インバウンドや若年層、テレビや新聞、旅行雑誌は高齢者層に PR 効果が高い。

また、SNS は短期的な認知度拡大、旅行雑誌は長期的な認知度拡大に寄与している。

上記を踏まえ、情報発信を効果的に行うために、「世代」、「ターゲット」、「時季」等に応じて、戦略的に行う必要がある。

なお、SNS は近年情報発信ツールの主流となっているが、SNS を効果的に活用するためには、事業者側の発信力強化に加え、観光客が自発的に口コミや写真を投稿したくなるような工夫が必要である。

そのためには、発信力のあるタレントやインフルエンサーの活用も効果的であるが、まずは、各々の観光コンテンツがそれぞれ磨き上げを行うことにより魅力を高め、観光客の満足度向上を図る必要がある。

X. 淡路島における海事観光の推進に向けて

今年度の淡路島地域海事観光推進協議会では、淡路島における海事観光への潜在的な利用者層の開拓・獲得を図る観点から、幅広い業界の関係者と情報共有や意見交換を図りながら多角的な視点で議論が進められた。

その結果、地方への誘客や消費拡大の貢献の観点から、海事観光が持つ高いポテンシャルについて認識を新たにすることができた。

また、具体的な海事観光コンテンツを検討するにあたっては、淡路島の強みを存分に活かすことができる訴求効果の高い新たなコンテンツの掘り起こしを行うことができた。

一方、令和3年3月9日に開催された第2回協議会において、ジョイボート南淡路(株)から報告された明石海峡大橋クルーズや(株)淡路ジェノバラインから報告された島めぐりクルーズ、花火観覧クルーズ等は、既に新たな海事観光コンテンツとして事業化が進んでいる。

今後は、これらのコンテンツ以外に関しても、実践的な取り組みを進め、優良事例を数多く造っていくことが必要である。

そのためには、幅広い地域の関係者が一体となり、淡路島における海事観光の推進について共通の意識を持ち、連携して取り組んでいく必要がある。

更に、2025年に開催される大阪・関西万博は、淡路島の観光を国内外に発信する絶好の機会であることから、万博会場を訪れた観光客を淡路島に誘導するため、万博会場の夢洲と淡路島を結ぶ移動手段の検討も必要である。これにより、効果的な広域観光周遊ルートの形成が可能となるほか、さらなる観光客の来訪、滞在促進により、消費機会の創出も期待できる。

そのための新たな海上ルートの開設や、インバウンド受け入れのための環境整備についても、その必要性について関係者で共有することができた。

この中で、(株)淡路ジェノバラインからは、淡路島～万博会場間に航路を開設する構想がある旨の発言があった。

今後は、こうした広域観光周遊ルート形成に向けた具体的な取り組みを進めていく必要があるが、そのためには関係者で幅広く情報を共有し、共通認識の醸成を図りながら検討を進めていくことが重要である。